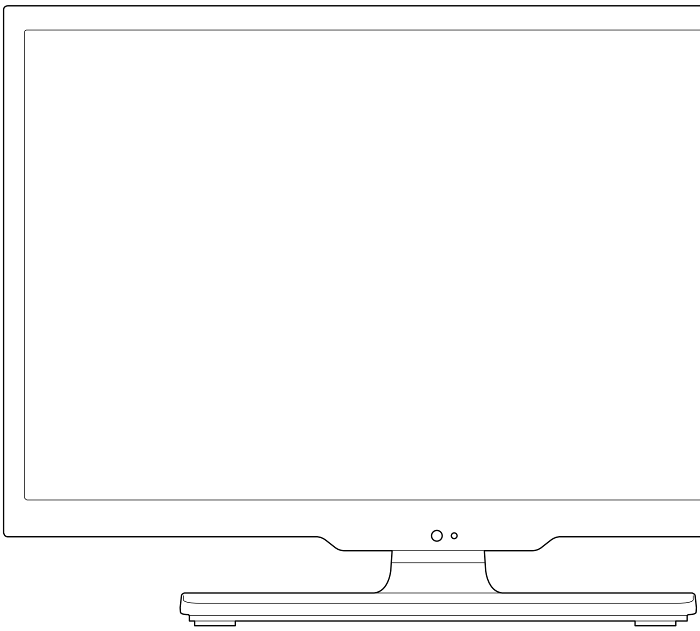
oën
オーエン

取扱説明書

DTC19-11B/DTC32-11B



（DTC19-11B）

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
- 保証書は必ず「販売店／購入日」などの記入を確かめて、お買い上げの販売店からお受け取りください。

株式会社ドウシシャ

安全上のご注意 （この取扱説明書の文中に出てくる「テレビ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています）

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上､製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。
本機は安全を十分に配慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

〈絵表示について〉

絶対に行わない	絶対に触れない	絶対にぬれた手で触れない
絶対に分解や修理はしない	絶対に浴室やシャワー室では使用しない	絶対に水にぬらさない
必ず電源プラグをコンセントから抜く	必ず指示に従う	高圧注意

家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

1　内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2　温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3　内部には高電圧部分があり、感電の原因となりますので、お客様による修理は絶対にしないでください。
4　ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは、販売店もしくはサービスセンターへ相談してください。

株式会社ドウシシャ

⚠警告

禁止

電源コードや車載用 DC ケーブルの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください
- コードを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずに必ずプラグを持って抜いてください。
- 付属の AC アダプターと DC ケーブルは本機以外には使用しないでください。

高圧注意
分解禁止

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。
お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、販売店にご相談ください。

水場での使用禁止
絶対に水にぬらさない

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘヤピンなど）を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

接触注意

雷が鳴りだしたらプラグに触れない

感電の原因となります。

禁止

交流 100 ボルトまたは自動車の DC12V マイナスアース以外では使用しない

本機は国内専用です。
異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。
設置場所や取り付けには気を付けて、水平で安定した場所に設置してください。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

指示

自動車内の電源を利用するときは、必ず付属の車載用 DC ケーブルを使用する

付属以外のケーブルを使用すると、火災・感電の原因になります。

禁止

大型自動車や船舶など、DC12V マイナスアース以外の直流（DC）電源には接続しない

付属の車載用 DC ケーブルは、DC12V マイナスアース車専用です。24V 車では絶対に使用しないでください。指定以外の電源に接続すると、火災・感電の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない

画面を見たり、ヘッドホンやイヤホンを使用したりしないでください。
交通事故の原因になります。

禁止

miniB-CAS カードは、小さなお子さまの手の届くところに置かない

お子さまが誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

禁止

車内に放置しない

本機は車載専用ではありませんので、高温、低温状態になる車内に放置しないでください。（使用温度範囲：5℃～ 40℃）
キャビネットが変形したり破損したりして、火災・感電の原因になります。

禁止

通電中の AC アダプターに長時間触れない

低温やけどの原因となることがあります。

異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります。
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグや車載用 DC ケーブルに傷がある。

ただちに電源スイッチを切って電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店またはドウシシャサービスセンターに修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

⚠注意

禁止

通風孔をふさがない

通風孔（放熱のための穴）をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から 10cm 以上の間隔を開けてください。

禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

禁止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

指示

水平で安定した所に置く

倒れたり、壊れたり、けがの原因となることがあります。

プラグを抜く

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合（この場合は、接続コードなどもはずしてください。）

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

指示

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を

長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、火災の原因となることがあります。電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

指示

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

指示

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症などの原因となることがあります。
万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低 15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。

指示

禁止

電池の取り扱いについて（リモコンの電池）

電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂する恐れがありますので次のことをお守りください。

- ＋－の指示通りに入れる。
- 指示以外の電池は使用しない。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しない。
- 電池の充電、ショート、分解、火への投入、過熱などしない。
- 液漏れがあった場合は、その液に触れない。
- 小さなお子さまの手の届くところに電池を置かない。
- 電池を廃棄するときは、地方自治体の指示に従う。

使用上のご注意とお願い

輝点・欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。
これは故障ではありません。

お手入れについて

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。
  汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。
    また、化学ぞうきんの使用は、化学ぞうきんの注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。
    ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。
  パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。
    傷付き・変色の原因となります。
  - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。
    色ムラ・変色の原因となります。
  - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。
    傷付き・変色の原因となります。

輸送について

本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。
熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。
また、液晶テレビの上に、タオルをかけたり、ものを置かないでください。

室内温度について

液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

バックライトについて

液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。

必ずお読みください

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル（テレビジョン）放送とは？

地上波の UHF 帯を利用して提供する放送のことです。取扱説明書では、「地上デジタル放送」と記載しています。

すでに受信エリアが、放送地域になっていること

地上デジタル放送の受信エリアの目安は、総務省にお問い合わせください。
総務省地上デジタルテレビジョン受信相談センター
0570-07-0101 03-4334-1111
受付時間　9：00 ～ 21：00（平日）
　　　　　9：00 ～ 18：00（土／日／祝祭日）
http://www.dpa.or.jp/
（2013 年 1 月現在）

ご注意

ファームウェアの更新について

- ファームウェアの更新処理は、本機の電源が切られているとき（電源ランプが赤色点灯時）に自動的に実行します。本体の電源ボタンで電源を切っているときは、ダウンロードできませんのでご注意ください。
  地上デジタル放送波にファームウェア信号を載せて、ファームウェアの更新データが送信され、本機へデータをダウンロードします。また、ファームウェアの更新処理には約 10 分かかります。
  本機を長期間使用しないとき以外は、電源コードを抜かないでください。

Dpa
社団法人デジタル放送推進協会
The Association for Promotion of Digital Broadcasting

ファームウェア更新は、Dpa のエンジニアリングサービスで行います。

お知らせ

- 以下のような環境で地上デジタル放送を受信する場合は、各事業者または管理者にお問い合わせください。
  - ケーブルテレビ
  - 共聴・集合住宅施設

B-CAS カードについて

- デジタル放送を視聴していただくために、付属しているminiB-CAS（ミニビーキャス）カードは、お客さまへ貸与された大切なカードです。破損や紛失などをした場合は、速やかに（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズへご連絡ください。
  お客さまの責任で破損、故障、紛失などをした場合は、再発行費用が請求されます。

ご注意

- より快適な環境でご使用いただくために、本機内部のファームウェア（制御プログラム）を更新する場合があります。
- ソフトウェアのダウンロードなどにより、本機の仕様および機能などが予告なく変更されることがあります。
- 本機についてのお問い合わせおよび修理のご依頼は、お買い上げになった販売店またはドウシシャサービスセンターまでご連絡ください。
- 取扱説明書に記載の内容は、将来予告なしに変更することがあります。ドウシシャサービスセンターまで最新情報についてお問い合わせください。
- 取扱説明書に記載の内容は、万全を期して作成いたしましたが、万一、誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、ドウシシャサービスセンターまでご連絡ください。

目　次

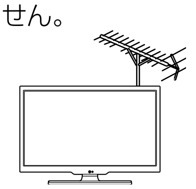
地上デジタル放送について

地上デジタル放送の特長

- デジタルハイビジョンが楽しめ、高画質・多チャンネル放送を利用できます。
- 音声は CD 並みの高音質で楽しめます。（MPEG-2 PCM/AAC 方式）
- ゴーストが無く、画像を鮮明に映し出します。
- 移動体・部分受信サービスに対応しています。
  自動車や電車などでの移動体受信サービスや、スマートフォンなどの携帯端末で受信できる部分受信サービス（ワンセグ）も利用できます。
  ※本機では、部分受信サービス（ワンセグ）は受信できません。

本機で楽しめる放送

地上デジタル放送は、UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が楽しむことができます。
※本機は、ワンセグ放送を受信することはできません。



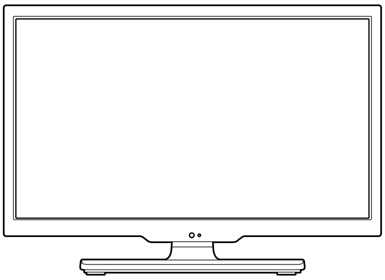
お知らせ

地上デジタル放送には、以下の 3 種類の放送があります。
● テレビ放送 : 従来のテレビ放送です。
● データ放送 : お住まいの地域の生活情報や天気予報、ニュースなどの放送です。
　（d データ）を押すとデータ放送を表示できます。（23 ページ参照）
● ラジオ放送 : 音声を主とした放送です。
　現在ラジオ放送は、放送を休止しています。（2013 年 1 月現在）

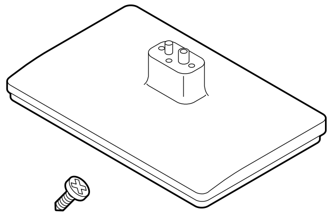
付属品を確認する

本製品をご購入時には、以下のものが含まれています。すべて揃っているかご確認ください。

本体 ×1



スタンド ×1

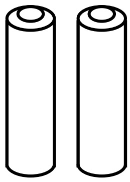


スタンド固定ネジ（19 インチ：4 本、32 インチ：3 本）

リモコン × 1



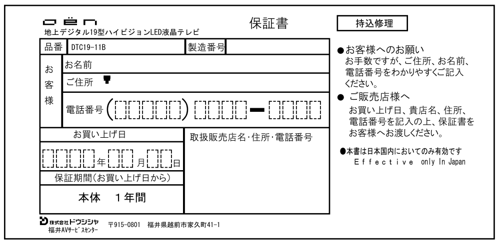
単 4 形乾電池（R03）× 2（お試し用）



取扱説明書 × 1



保証書 × 1


保証書　持込修理

地上デジタル19型ハイビジョンLED液晶テレビ

品番	DTC19-11B	製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号 （　　　）　　　－		
お買い上げ日	年　月　日	取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間(お買い上げ日から)	本体　1年間		

●お客様へのお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。

●ご販売店様へ
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、保証書をお客様へお渡しください。

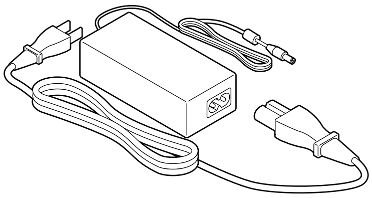
●本書は日本国内においてのみ有効です
Effective only In Japan

株式会社ドウシシャ 福井AVサービスセンター　〒915-0801　福井県越前市家久町41-1

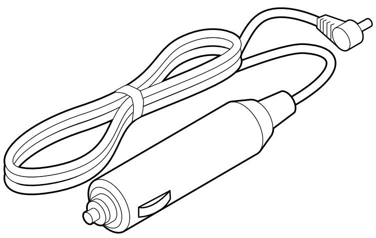
miniB-CAS カード × 1



AC アダプター × 1

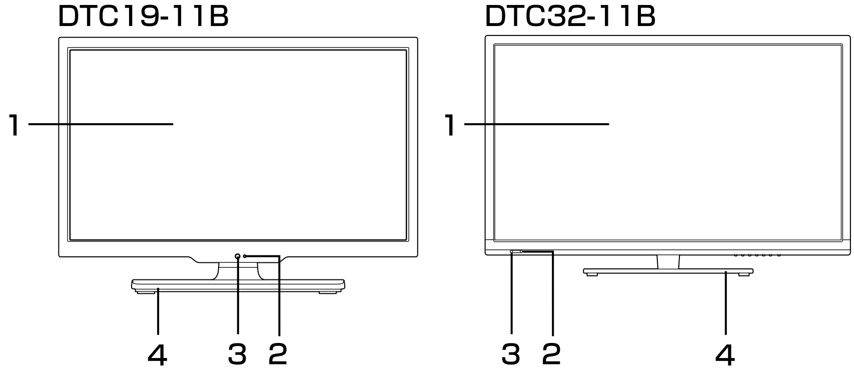


DC ケーブル × 1（マイナスアース 12V 車専用）



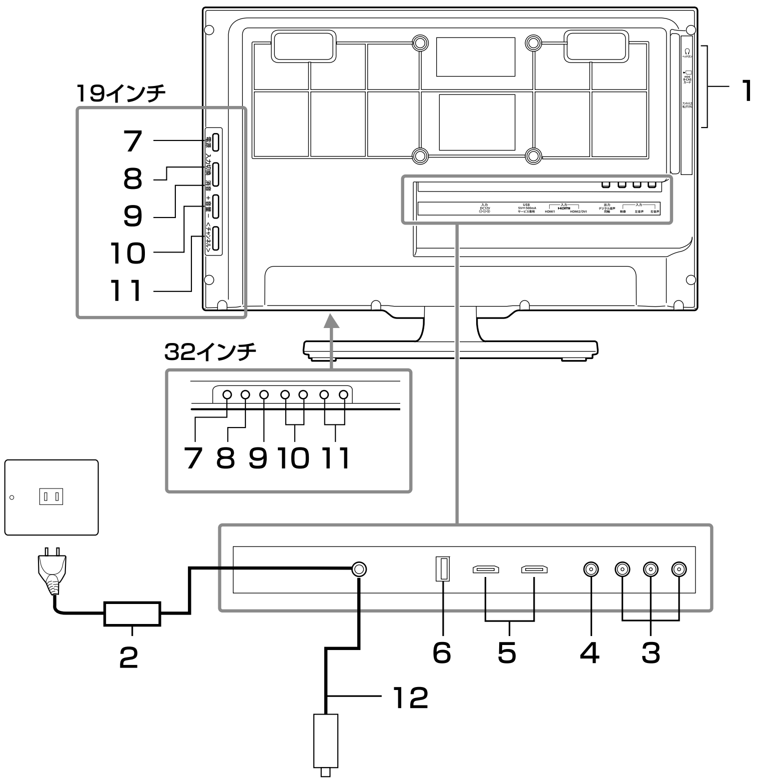
各部の名称（本体）

前面



1　液晶画面
2　電源ランプ
3　リモコン受光部
4　スタンド

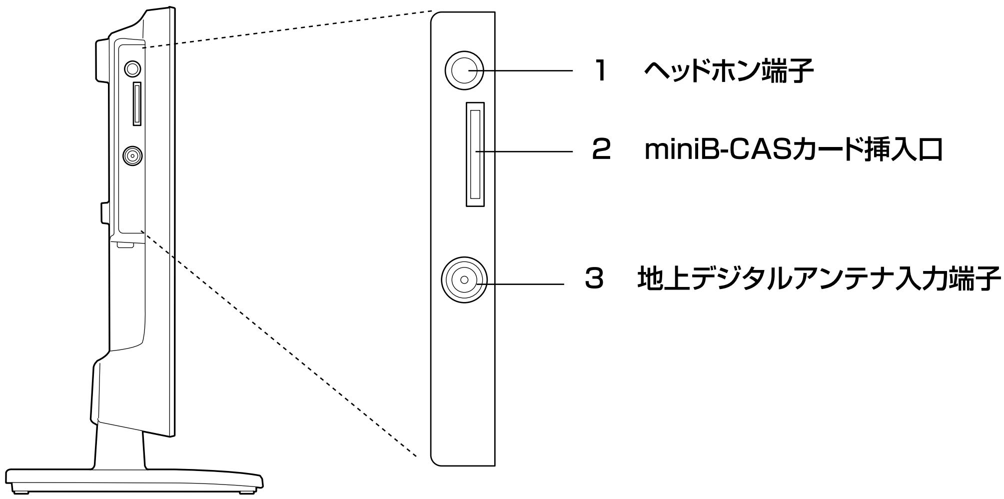
背面



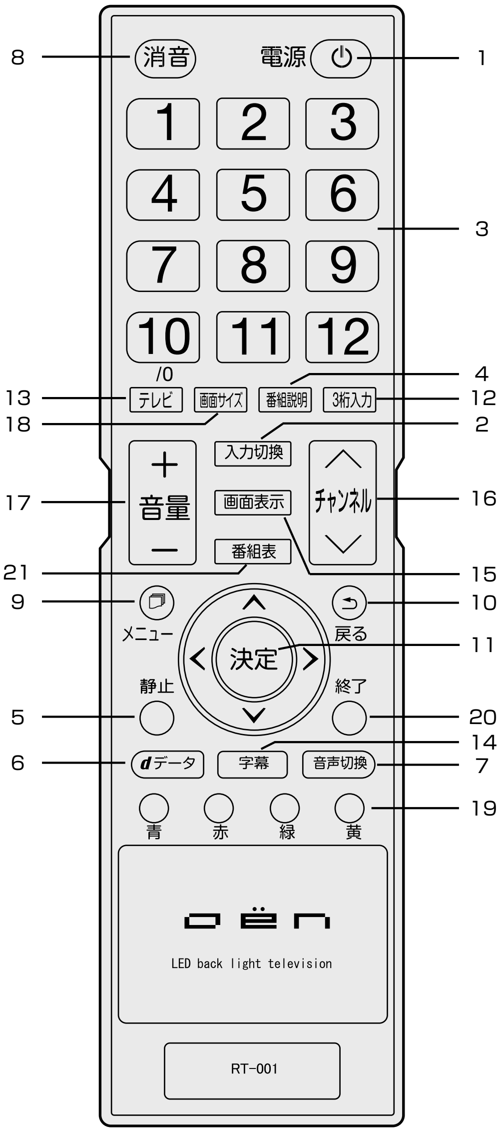
◎　自動車のシガーライター電源（DC 12V）
※24Vには対応しておりません。

1　端子部
2　ACアダプター
3　ビデオ入力
4　デジタル音声出力(同軸)
5　HDMI入力
6　USB端子(※サービス用のため通常は使用しません)
7　電源スイッチ
8　入力切替スイッチ
9　消音スイッチ
10　音量スイッチ
11　チャンネル切替スイッチ
12　DCケーブル

左側面端子部



各部の名称（リモコン）



1　**電源ボタン**
テレビの電源を「入」「切」します。

2　**入力切換ボタン**
外部入力を切り換えます。入力切換ボタンを押すたびに、入力が切り換わります。

3　**数字ボタン**
チャンネルを選択します。
数字を入力するときに使用します。

4　**番組説明ボタン**
視聴中の番組詳細を表示します。

5　**静止ボタン**
映像画面のみを静止します。

6　**d データボタン**
データ放送を表示します。

7　**音声切換ボタン**
2 カ国語／ステレオなど音声を切り換えます。

8　**消音ボタン**
音声を一時的に消音にします。もう一度押すと消音を解除します。

9　**メニューボタン**
メニュー画面を表示します。

10　**戻るボタン**
メニュー画面を表示しているときに、1 つ前の画面に戻ります。

11　**決定ボタン**
メニュー画面の選択項目を決定します。

▲▼◀▶ボタン
メニューを選択するときに使用します。

12　**3 ケタ入力ボタン**
3 ケタのチャンネル番号を入力するときに使用します。

13　**テレビボタン**
地上デジタル放送に切り換えます。

14　**字幕ボタン**
字幕を切り換えます。

15　**画面表示ボタン**
現在受信しているチャンネルの番組情報を表示します。

16　**チャンネル ∧ ∨ ボタン**
チャンネルを順番に切り換えます。

17　**音量＋／－ボタン**
音量を大きくしたり、小さくしたりします。

18　**画面サイズボタン**
画面サイズを切り換えます。

19　**カラーボタン（青、赤、緑、黄）**
メニュー選択時やデータ放送を利用するときに使用します。

20　**終了ボタン**
メニュー画面、入力切換、画面表示および番組表を終了します。

21　**番組表ボタン**
番組表を表示します。

スタンドの取り付け

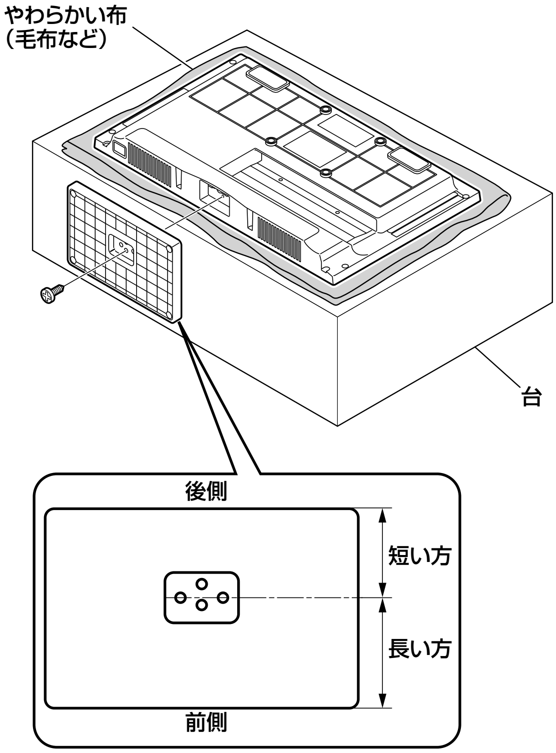
本機をご使用の前に、必ずスタンドを取り付けてください。取り付ける際は、スタンドの取り付け方向に注意して、正しく取り付けてください。

1 **台などの上にやわらかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く**

2 **右図を参照して、本体にスタンドを差し込み、付属のネジ（19 インチ：4 本、32 インチ：3 本）で固定する**

ご注意

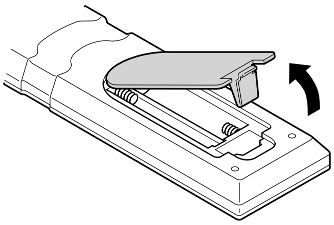
- スタンドの取り付け方向を間違えると、本体が転倒する恐れがあります。
- 液晶パネルに強い力や衝撃を与えないでください。圧力でパネルガラスが破損する可能性があります。



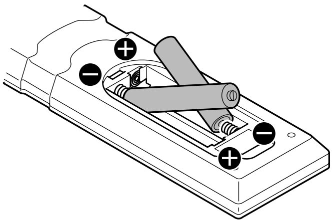
準備

リモコンの準備と使い方

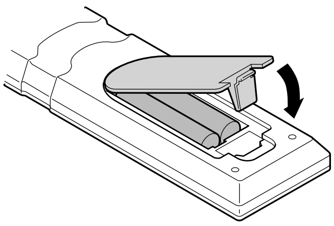
1 リモコン裏側の電池ぶたを上方向へ引き上げ、取りはずす



2 乾電池の＋－極の方向に注意して、乾電池を入れる



3 電池ぶたを元の位置に取り付ける



ご注意

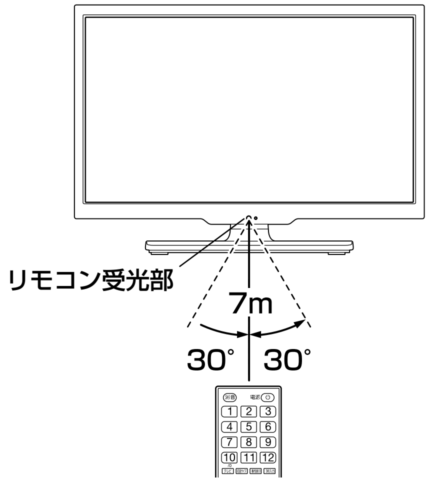
- 新旧の乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命が短くなります。古い乾電池から液もれすることがあり、火災やけがの原因になります。
- 乾電池の電極の向きが正しくないとリモコンの故障の原因になり、火災につながる恐れがあります。

お願い

- 乾電池は正しい方向に入れてください。
- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則に従って処理してください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取りはずしてください。
- 付属の乾電池はお試し用です。はやめに新しい乾電池と入れ替えてください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンの操作は、本体前面にあるリモコン受光部の正面から約 7 メートル、左右 30°の範囲でお使いください。



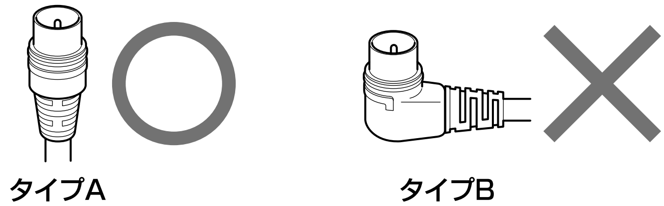
お願い

- リモコンとリモコン受光部の間に障害物を置かないでください。

アンテナを接続する

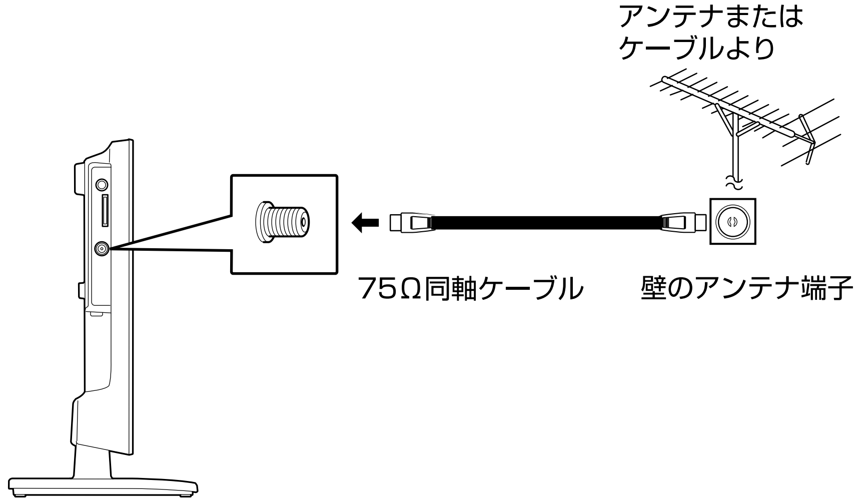
ご注意

- アンテナを接続する前に、必ず本機およびすべての接続機器の電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事は技術と経験が必要になります。アンテナの設置や調整については販売店にご相談ください。
- ご使用になるアンテナプラグは、タイプ A の形状を推奨します。タイプ B の形状はアンテナ端子への接続がしにくいものがありますので、ご注意ください。



UHF アンテナ線のつなぎかた

地上デジタル放送は UHF 帯を利用していますので、UHF 対応のアンテナを使用してください。VHF アンテナでは受信できません。
お使いのアンテナが UHF 対応でも、地域やアンテナ設置状況によって、取り替えや調整、またはブースターの追加などが必要になる場合があります。
接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）などは本製品に付属していません。ご使用のアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切な市販品を別途お買い求めください。



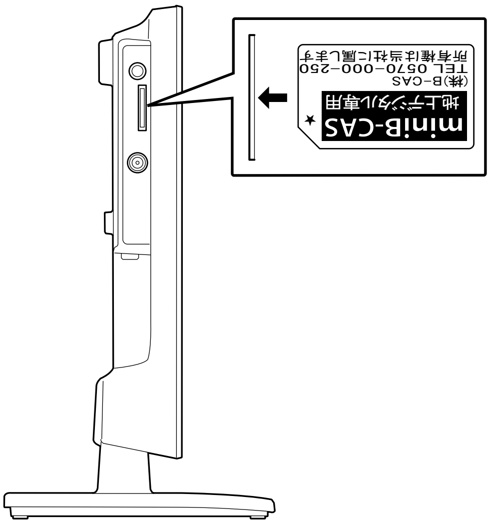
お知らせ

- 天候などの影響により受信信号レベルが変動します。アンテナレベルが 50 以上になるように設定してください。（46 ページ参照）アンテナレベルが足りないときはブースターなどで調整してください。
- ケーブルテレビで受信しているときは、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 自動車で使用するときは市販のアンテナをご利用ください。（ダイバーシティアンテナには対応しておりません）

B-CAS カードを入れる／電源を入れる

B-CAS カードを入れる

本機でデジタル放送を視聴するには、miniB-CAS カードが必要です。付属の miniB-CAS カードを常に miniB-CAS カード挿入口に入れておいてください。



ご注意

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。
  miniB-CAS カードを挿入するときは、カードの向きにご注意ください。切り欠きが下になるようにしっかりと挿入してください。

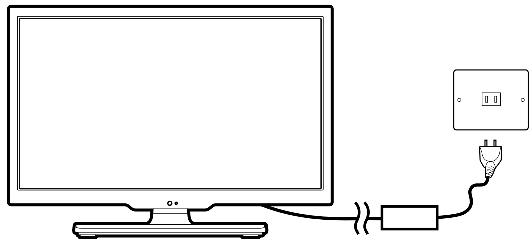
B-CAS カードのお問い合わせについて

B-CAS カードについては、下記にお問い合わせください。

株式会社 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター TEL　0570-000-250

電源を入れる

1 **電源プラグをコンセントに差し込む**



2 **リモコンまたは本体の電源ボタンを押す**

本体前面の電源ランプが青色に点灯し、電源が入ります。

お買い上げ後はじめて電源を入れたときは、チャンネル設定が必要です。次ページ「はじめての設定」を参照してください。

お知らせ

電源を入れてから画面が表示されるまでに約 10 秒時間がかかります。

※本機はクイックスタート（高速起動）機能を搭載しています。（32 ページ参照）

ご注意

- 本体の電源ボタンで電源を切ると、電源ランプが消灯します。
  この状態では、番組表のデータ受信、ソフトウエアのダウンロードなどができません。
  長期間ご使用にならない場合を除き、リモコンで電源の「入」「切」操作を行ってください。
- 自動車の電源で使用するときは必ずエンジンをかけた状態にしてください。また、運転者がテレビを見るときは、必ず停車してください。

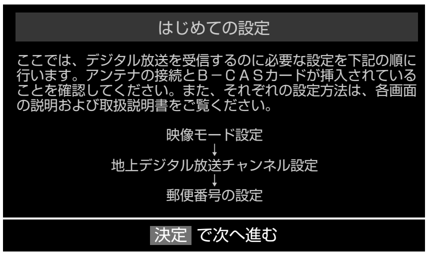
チャンネル設定をする

準備

はじめての設定

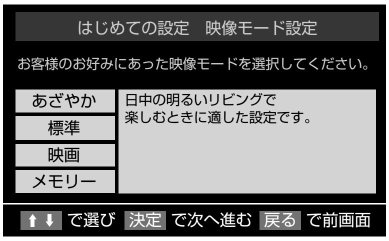
miniB-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「はじめての設定」で、チャンネルをお住まいの地域に設定してください。

1 「はじめての設定」画面が表示される

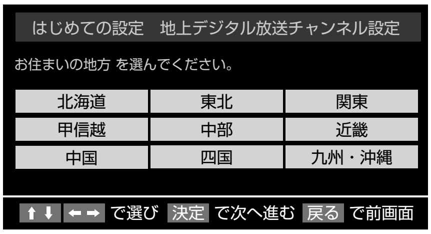


2 アンテナ接続と miniB-CAS カードの挿入を確認して (決定) を押す

「はじめての設定　映像モード設定」画面が表示されます。お好みの映像モードを選んで (決定) を押します。

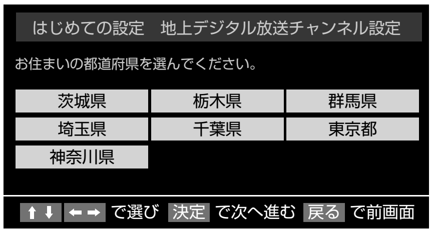


3 ▲▼◀▶でお住まいの地方を選び (決定) を押す



4 ▲▼◀▶でお住まいの都道府県または地域を選んび (決定) を押す

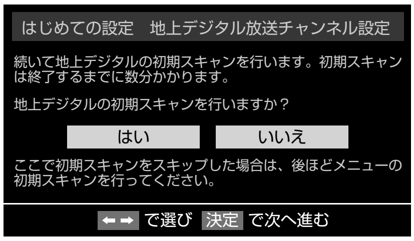
「はじめての設定　地上デジタル放送チャンネル設定」画面が表示されます。



お知らせ

- (戻る) を押すと、ひとつ前のメニュー表示に戻ります。
- 画面の最下部に、簡易メニュー操作ガイドが表示されます。
- 一定時間メニューを表示したままにすると、自動的にメニュー表示は消えます。

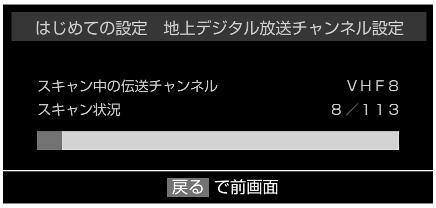
5 地上デジタルの初期スキャン画面が表示される



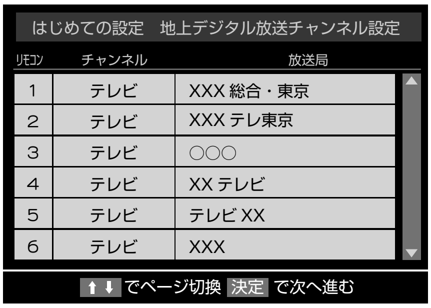
チャンネル設定をする

6 **「はい」が選択されていることを確認して 決定 を押す**

地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。



スキャンが終了し「はい」を選択して 決定 を押すと、「地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認しますか？」と表示されます。「はい」を選び 決定 を押します。



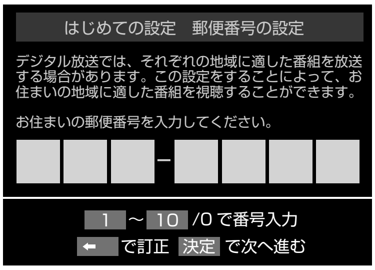
7 **▼を押して、リモコンのチャンネル番号割り当てを確認する**

お知らせ

- 自動設定された内容を変更したいときは、「手動設定」で設定し直すことができます。（34 ページ参照）
- 地域によっては地上デジタルのチャンネル設定番号が変更になる場合があります。その地域にお住まいの方は、チャンネルの再スキャンをしてください。（34 ページ参照）

郵便番号の設定

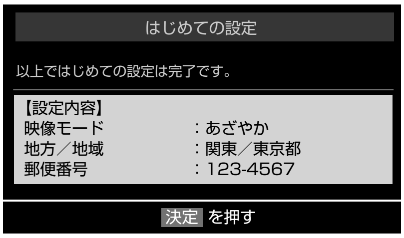
お住まいの地域に密着したデータ放送（天気予報・選挙速報など）を視聴するための設定です。
郵便番号を設定することで、地域を指定できます。



8 **お住まいの地域の郵便番号を 1 ～ 10/0 で入力して 決定 を押す**

入力を間違えたときは、◀でカーソルを戻してもう一度入力します。

郵便番号入力で上３ケタを入力して 決定 を押すと、残りの下４ケタは自動的に「0」が入力されます。



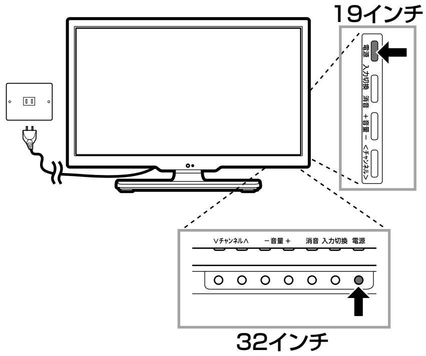
9 **以上で「はじめての設定」は完了です**

テレビを見る

1 **リモコンまたは本体の電源ボタンを押す**

本体前面の電源ランプが青色に点灯します。

しばらくすると、前回見ていたチャンネルまたは外部入力を表示します。



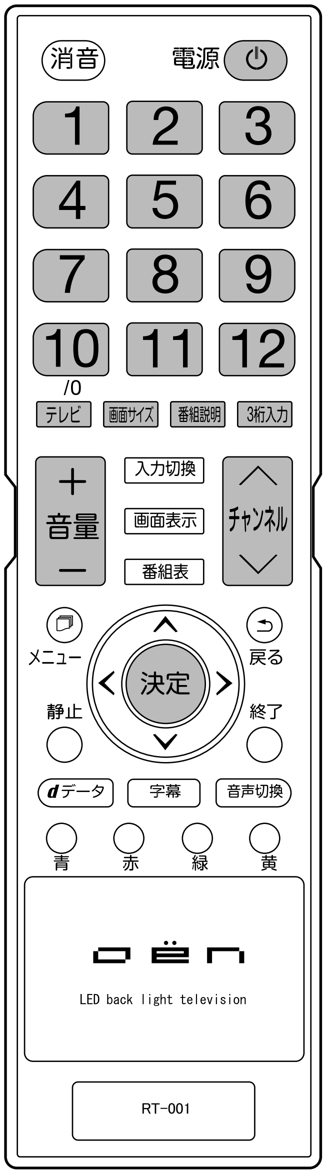
2 **［テレビ］で地上デジタル放送を選ぶ**

3 **数字ボタン（①〜⑫）、チャンネル ∧ ∨ ボタンまたはチャンネル番号を入力してチャンネルを選ぶ**

チャンネル ∧ ∨ ボタンは、押すたびにチャンネルが順送りに切り換わります。

チャンネル番号の入力は、３ケタ入力ボタンまたは（メニュー）を押し、▲ ▼と（決定）で「その他の機能」→「チャンネル番号入力」を選び、数字キーで３ケタのチャンネル番号を入力します。

4 **音量＋／－で音量を調節する**



◎ 音だけを消したいとき

1 **（消音）を押す**

画面右下に「消音」と表示されます。



2 **もう一度（消音）を押すと、音量が元に戻る**

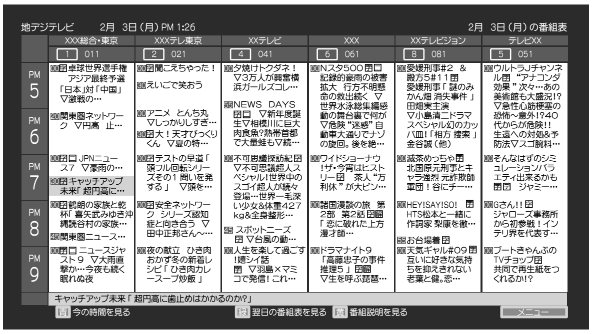
音量＋／－を押しても音が出ます。

番組表を見る

デジタル放送は、放送局から送られてくる情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送局別の番組一覧を確認することができます。最大７日先までの放送予定を確認することができます。

1 **デジタル放送視聴中に［番組表］を押す**

視聴中のチャンネル番組表が表示されます。



2 **番組表を消すには（戻る）、［番組表］または（終了）を押す**

▌お知らせ

- ［番組表］を押すと約２秒で表示されます。
- 「はじめての設定」直後は、まだ番組情報を完全に取得できていないため、すべてのチャンネル番組表が表示されない場合があります。このようなときは、（メニュー）を押して番組情報取得を選択し、番組情報を取得してください。（表示されるまでに時間がかかったり、情報が取得できなかったりすることがあります）
  リモコンの電源ボタンで電源を切った場合は、毎日午前３時 10 分と午後３時 10 分に、自動的に番組情報を取得するため、この操作は不要です。（本体の電源ボタンで電源を切った場合は、番組情報を自動的に取得できません）

視聴予約を設定する

1 **デジタル放送視聴中に［番組表］を押す**

チャンネル番組表が表示されます。

2 **▲▼◀▶で予約したい番組を選び（決定）を押す**

3 **番組説明を確認して「視聴予約をする」を選び（決定）を押す**

4 **チャンネル番組表の画面で、予約した番組のボックスに赤いマークが付く**

▌ご注意

- 視聴予約は１件のみ登録することができます。
- 視聴予約を設定後に電源を切ると、予約は取り消されます。

視聴予約を取り消す

1 **予約した番組を選び（決定）を押す**

2 **番組説明を確認して「視聴予約を取消」を選び（決定）を押す**

3 **チャンネル番組表の画面で、予約した番組のボックスの赤いマークが消える**

デジタル放送の便利な機能を使う

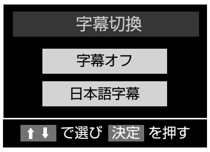
文字スーパーを表示する

文字スーパーは、視聴している番組とは連動しないニュース速報などを表示するものです。
文字スーパーの表示は、メニューの「文字スーパー表示設定」で設定することができます。（36 ページ参照）

字幕を表示する

字幕のついた番組を視聴しているときは、字幕の表示･非表示を切り換えることができます。

1 **デジタル放送視聴中に [字幕] を押す**



▲▼で「字幕オフ」「日本語字幕」を選択して (決定) を押します。

基本の操作

チャンネル情報を見る／音声を切り換える

チャンネル情報を見る

画面表示ボタンを押すと、現在受信中のチャンネル番号・音声情報・映像情報などを表示できます。

1 **画面表示 を押す**

2 **もう一度 画面表示 を押すと、画面表示が消える**

チャンネル番号、放送局名、現在時刻、番組名、放送時間などが表示されます。



しばらくすると、画面下部の表示は消え上部の表示のみになります。

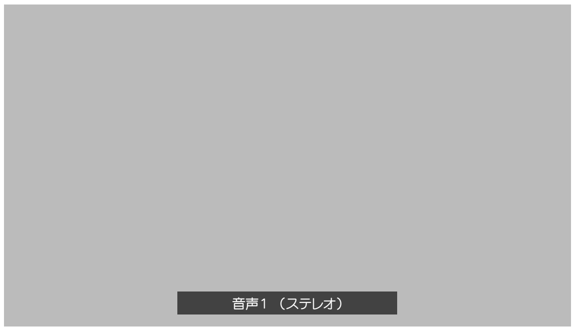


もう一度 画面表示 を押すと、上部の表示も消えます。

音声を切り換える

1 **音声切換 を押す**

押すたびに別の音声に切り換わります。



お知らせ

- 音声表示は受信している放送によって異なります。
- 切り換える音声がない場合は「音声多重放送でないため、切り換えられません。」と表示されます。

データ放送を見る

データ放送

- デジタル放送は映像や音声による通常のテレビ放送以外に、データ放送を受信できます。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルとは独立した別のチャンネルで行われているデータ放送があります。

ラジオ、独立データ放送を楽しむ

1 **デジタル放送を見ているときに (メニュー) を押す**

2 **▲▼ で「その他の機能」を選び (決定) を押す**

3 **▲▼ で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び (決定) を押す**

4 **切り換えたい項目（「テレビ」「ラジオ」「データ」）を ▲▼ で選び (決定) を押す**

連動データ放送を楽しむ

テレビ放送チャンネルでは、天気予報やニュース、番組案内などの連動データ放送を提供している場合があります。

1 **(dデータ) ボタンを押す**

放送局により表示される内容が異なります。

画面に表示された操作指示に従ってください。

2 **▲▼◀▶ で移動し (決定) ボタンを押す**

選択した情報を見ることができます。

3 **(dデータ) ボタンを押すと通常画面に戻る**

(メニュー) を押し、▲▼ と (決定) で「その他の機能」→「データ放送終了」を押しても終了できます。

ご注意

- 双方向サービスに、本機は対応していません。

お知らせ

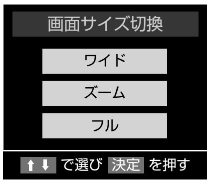
- データ放送取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、[d データ] ボタンは「データ放送ボタン」、「データボタン」と表示される場合があります。
- ラジオ放送は放送を休止しています。（2013 年 1 月現在）
  テレビ放送チャンネルとは独立した別チャンネルで行われているデータ放送の中には、本機で利用できないものもあります。

画面サイズを変える

視聴する番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1 「画面サイズ」ボタンを押す

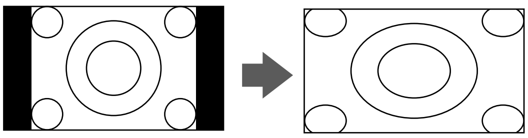
2 「画面サイズ切換」画面が表示されます



3 「ワイド」「ズーム」または「フル」を選んで (決定) を押す

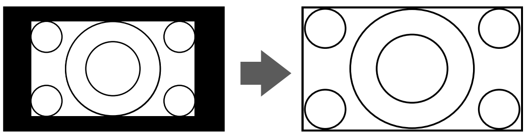
ワイド

左右に黒帯のある画像を、画面いっぱいに拡大して表示します。(上下の映像が画面の外に隠れ、横伸びします)



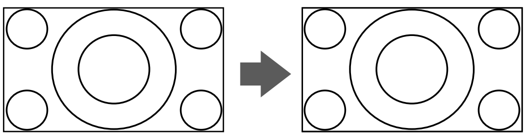
ズーム

上下左右に黒帯のある映像を画面いっぱいに表示します。



フル

16：9 の映像をそのままのアスペクト比で表示します。



メニュー画面の操作方法

本機の各種設定を変更することができます。設定できる項目と詳細については、次ページ以降を参照してください。（以下の手順は、「高音強調」を設定する場合の例です）

1 **(メニュー) ボタンを押す**

メニュー画面が表示されます。



2 **▲▼ で「音声設定」を選んで (決定) を押す**

音声設定メニューが表示されます。



3 **▲▼ で「音声調整」を選んで (決定) を押す**



4 **▲▼ で「高音強調」を選んで (決定) を押す**



5 **▲▼ でお好みの設定を選んで (決定) を押す**

手順 3 の「音声調整」メニューに戻ります。

6 **(終了) を押す**

お知らせ

- 一定時間メニューを表示したままにすると、自動的にメニュー表示が消えます。
- (戻る) を押すと、ひとつ前のメニュー表示に戻ります。
- 画面の最下部に、簡易メニュー操作ガイドが表示されます。

画面サイズを調整する

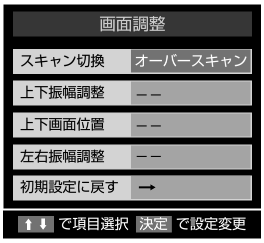
画面のスキャンモードを設定する

※ 映像の種類によっては、スキャンモードを設定できないことがあります。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「映像設定」を選び 決定 を押す

3 ▲▼ で「画面調整」を選び 決定 を押す



4 ▲▼ で「スキャン切換」を選び 決定 を押す

5 ▲▼ で「ジャストスキャン」または「オーバースキャン」を選び 決定 を押す

・ジャストスキャン........16：9 の映像を画面内にすべて表示します。

・オーバースキャン........16：9 の映像を少し大きめに表示します。

6 終了 を押す

画面の位置や幅を調整する

「信号、画面サイズ」の組合せごとに、「画面調整」の設定が記憶されます。

※ 画面サイズ切換が、フルまたはノーマルの場合は調整できません。

※ 映像の種類と画面サイズの組み合わせによっては、調整できない場合があります。

※ パソコンを接続したときに、画面に表示される画面情報とパソコン側で設定した情報が一致しない場合があります。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「映像設定」を選び 決定 を押す

3 ▲▼ で「画面調整」を選び 決定 を押す

4 ▲▼ で調整したい項目を選び 決定 を押す

・ 上下振幅調整........映像の縦サイズを調整します。

・ 上下画面位置........映像の上下の表示位置を調整します。

・ 左右振幅調整........映像の横サイズを調整します。

5 ◀▶ でお好みの状態に調整し 決定 を押す

上下振幅調整と左右振幅調整の範囲は－ 03 ～＋ 03、上下画面位置の表示位置の範囲は－ 10 ～＋ 10 で調整できます。

調整画面で ◀▶ を数秒間押さないとメニュー画面に戻ります。

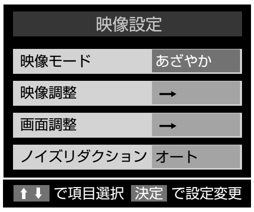
画面調整をお買い上げ時の状態に戻す

1 上記の手順４で「初期設定に戻す」を▲▼ で選び 決定 を押す

2 ◀▶ で「はい」を選び 決定 を押す

3 終了 を押す

映像設定メニュー



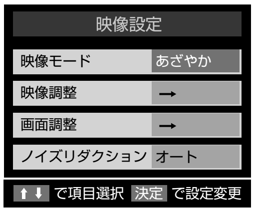
現在選択している入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の映像を、お好みの画質に調整できます。

映像モード

本機には、シーンに合わせた映像設定があらかじめ用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。



- **あざやか**
  くっきりとしたコントラストが高い映像が楽しめます。
- **標準**
  標準的なくせのない色あいになります。
- **映画**
  映画などの映像に適した落ち着いた色あいになります。
- **メモリー**
  映像モードの「あざやか」「標準」「映画」をお好みに合わせて「コントラスト」「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「シャープネス」「バックライト」「色温度」を調整した設定が「メモリー」に記憶されます。



映像調整

映像調整を選択することにより、お好みに合わせた画質に調整することができます。

調整項目

「コントラスト」「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「シャープネス」「バックライト」「色温度」の各設定を選択します。



- **コントラスト**
  設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
- **黒レベル**
  設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
- **色の濃さ**
  設定値が低いほど色が薄く、設定値が高いほど色が濃くなります。
- **色あい**
  画面の色あいを紫っぽくしたり、緑っぽくしたりします。



- **シャープネス**
  設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。

映像設定メニュー

- **バックライト**
  バックライトの明るさをお好みに合わせて調整できます。
- **色温度**
  3 種類の色温度設定が用意されています。お好みや視聴する映像に合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。
  高（青味が強調された色あいになります）
  中（標準的な色あいになります）
  低（赤味が強調された色あいになります）

お好みに合わせて調整してください。
調整した内容は「メモリー」として保存され、映像モードで選択をすることができます。

ノイズリダクション

映像のノイズを軽減することができます。
「オート」を選ぶと映像のノイズを検出して自動で軽減します。

音声設定メニュー



現在選択している入力モード（テレビ、ビデオ、HDMI）の音声を、お好みの音質に調整できます。

音声調整

音声調整を選択することにより、お好みに合わせた音質に調整することができます。

調整項目

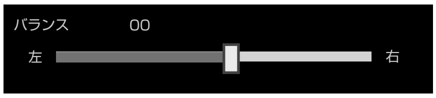
「バランス」「高音」「低音」「高音強調」「低音強調」「サラウンド」の各設定を選択します。



- **バランス**
  左右の音声出力のバランスを調整します。
- **高音**
  設定値が大きいほど高音を強調し、設定値が小さいほど高音を弱めます。
- **低音**
  設定値が大きいほど低音を強調し、設定値が小さいほど低音を弱めます。
- **高音強調**
  「オン」「オフ」で切り換えます。
- **低音強調**
  「強」「弱」「オフ」に切り換えます。
- **サラウンド**
  「オン」「オフ」で切り換えます。

調整画面

お好みに合わせて調整してください。
調整した内容は記憶されます。



デジタル音声出力

デジタル音声出力端子から出力する音声形式を設定します。

- **PCM**
  PCM のみ対応のデジタルアンプなどを接続している場合に選択します。デジタル放送の音声信号も PCM に変換して出力します。
- **デジタルスルー**
  AAC またはドルビーデジタル対応のデジタルアンプなどを接続している場合に選択します。デジタル放送の音声信号がそのまま出力されます。
- **サラウンド優先**
  AAC やドルビーデジタルのサラウンド音声（5.1ch や 4.1ch サラウンド音声など）に対応したデジタルアンプなどを接続している場合に選択します。コンテンツの音声信号が、AAC やドルビーデジタルのサラウンド音声の場合にそれらの信号が出力されます。それ以外の場合は PCM 信号が出力されます。

お使いのデジタルアンプなどの外部機器に合わせて設定を変更してください。
デジタルアンプなどの外部機器の詳細については、各外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

便利な機能を使う

映像を一時静止させる

1 静止 ◯ を押す

解除するときは 静止 ◯ をもう一度押します。

※ 一時静止中も映像は進んでいきます。解除した場合、その間の映像はスキップされます。
※ チャンネルや入力を切り換えると、一時静止は解除されます。
※ 一時静止中は、機能の一部（画面サイズの設定など）が使用できなくなります。
※ 音声や字幕の停止はできません。

ご注意

- 一時静止は自動で解除されません。長時間同じ画面を表示していると、画面の焼き付きなどを起こす場合があります。

字幕を見る

字幕切換で「日本語字幕」に設定すると、字幕放送を受信したときに字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ（字幕を表示しない）」に設定されています。
字幕放送番組は、20 ページの番組表のように 字 アイコンが表示されます。（一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります）

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「その他の機能」を選び 決定 を押す

3 ▲▼ で「信号切換」を選び 決定 を押す

4 ▲▼ で「字幕切換」を選び 決定 を押す

5 「字幕オフ」または「日本語字幕」を ▲ ▼ で選び 決定 を押す

※ 字幕の切り換えは、リモコンの 字幕 ボタンで切り換えることができます。
※ 字幕放送を受信時のみ字幕は表示されます。
※ 字幕が映像自体に表示されている場合は、字幕切換を「オフ」に設定しても字幕が表示されます。

ご注意

- 字幕の表示が、放送信号の処理の速度によって、多少遅れて表示されたり早く消えたりすることがありますが、故障ではありません。

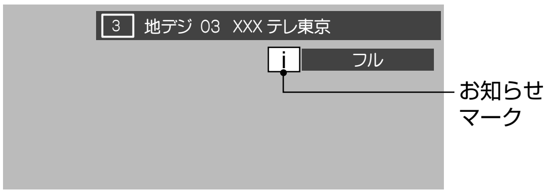
その他の設定メニュー



その他の設定メニューでは「お知らせ」「機能設定」「CEC 設定」「初期設定」を行います。

お知らせ

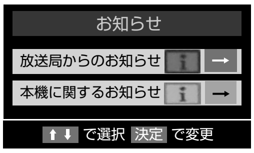
- お知らせには、「放送局からのお知らせ」と「本機に関するお知らせ」があります。
- 未読のお知らせがあると、チャンネル切換時や[画面表示]を押したときに「お知らせマーク」が画面に表示されます。



1 (メニュー) を押す

2 ▲▼ で「その他の設定」を選び (決定) を押す

3 ▲▼ で「お知らせ」を選び (決定) を押す



4 ▲▼ でお知らせの種類を選び、(決定) を押す

- 放送局からのお知らせ........デジタル放送局からのお知らせです。
- 本機に関するお知らせ........ソフトウェアの更新についてなど、本機からのお知らせです。

5 ▲▼ で読みたいお知らせを選び (決定) を押す

「本機に関するお知らせ」を削除する場合

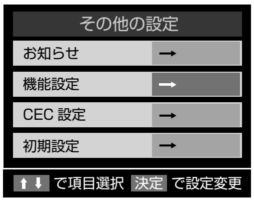
- 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。
  ①「本機に関するお知らせ」画面で (青) を押す
  ②◀▶で「はい」を選び (決定) を押す
  ※ すべての「本機に関するお知らせ」が削除されます。

ご注意

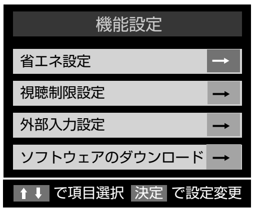
- 「放送局からのお知らせ」は、最大 7 通まで記憶されます。（放送局によっては、それよりも少ない場合もあります）記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は古い既読から順に削除される場合があります。

機能設定メニュー

機能設定



機能設定では「省エネ設定」「視聴制限設定」「外部入力設定」「ソフトウェアのダウンロード」の設定を行います。

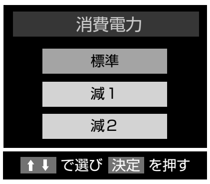


省エネ設定

省エネ設定では、「消費電力」「番組情報取得設定」「無操作自動電源オフ」「オンエアー無信号オフ」「外部入力無信号オフ」「クイックスタート」の設定を行います。

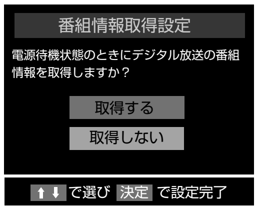


① 消費電力



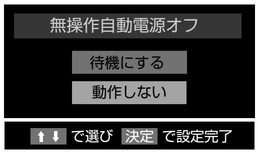
バックライトの明るさを調整して、消費電力を通常より減らすことができます。

② 番組情報取得設定



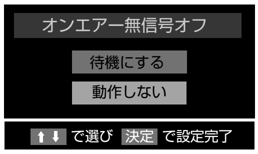
電源待機時に地上デジタル放送の番組情報を、自動的に取得するかしないかを選択します。

③ 無操作自動電源オフ



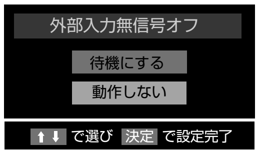
テレビの無操作状態が約 3 時間続いた場合に、電源を切り待機状態にするかしないかを選択します。

④ オンエアー無信号オフ



放送受信時、無信号状態が約 15 分間続いた場合に、電源を切り待機状態にするかしないかを選択します。

⑤ 外部入力無信号オフ



外部入力選択時に、無信号状態が約 15 分間続いた場合に、電源を切り待機状態にするかしないかを選択します。

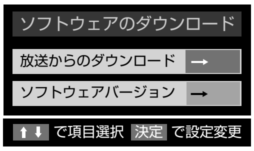
⑥ クイックスタート



待機状態のときに、リモコンの電源ボタンを押すと「クイックスタート」を設定するかしないかを選択します。

「動作する」に設定すると、電源ボタンを押してから画面が表示されるまでの時間が短縮されますが、待機消費電力が増加します。

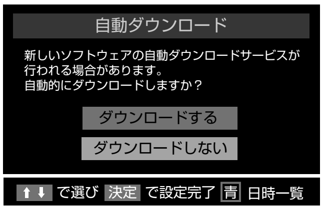
ソフトウェアダウンロード



ソフトウェア自動更新の設定やソフトウェアバージョンを確認できます。

自動ダウンロード

本機のソフトウェアを自動的にダウンロードして、更新するか設定します。



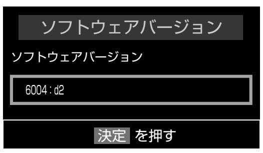
「ダウンロードする」に設定した場合、新しいソフトウェアが配信されたときに、自動的にダウンロードと更新が行われます。「ダウンロードしない」に設定している場合は、「お知らせ」の「本機に関するお知らせ」に、ソフトウェア配信の日時を知らせるお知らせが届きます。配信日時までに「する」に設定してください。

ご注意

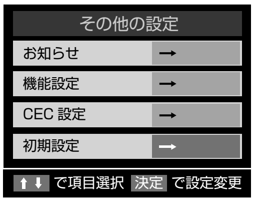
- 電源が供給されていないと、ソフトウェアのダウンロードを行えません。AC アダプターを抜かないようご注意ください。
- アンテナ受信レベルが低い場合、ソフトウェアのダウンロードは行えません。NHK のアンテナレベルが 50 以上になるよう、アンテナを調整してください。
- 本体の電源ボタンで電源を切っているときは、ソフトウェアのダウンロードは行えません。

ソフトウェアバージョン

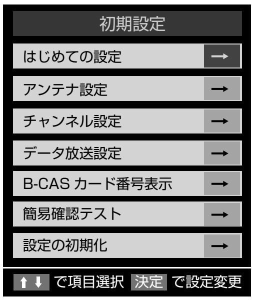
現在の「ソフトウェアバージョン」を表示します。



初期設定メニュー



選択している入力モードによって、初期設定メニューに表示される項目が異なります。
入力モードを選択してから(メニュー) を押してメニューを表示し、▲▼で「初期設定」を選択してください。

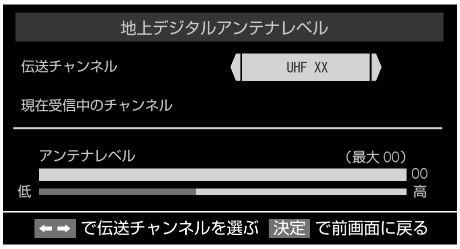


はじめての設定

引越しなどでお住まいの地域が変わったときには「はじめての設定」を行ってください。(17 ページ参照)

アンテナ設定

◀ ▶で受信チャンネルを選ぶと、チャンネルごとのアンテナレベルを確認できます。



チャンネル設定

- **地上デジタル自動設定**
  引越しなどした場合は、このメニューからチャンネルを設定してください。状況に応じて「初期スキャン」または「再スキャン」を選び (決定) を押します。

  「初期スキャン」を選ぶと現在の内容がクリアされ、自動的に受信できるチャンネルをスキャンして設定します。お買い上げ後初めて設定する場合や、違う地域に引越しした場合は、こちらを選び (決定) を押します。

  「再スキャン」を選んだ場合、スキャン後にすべてを設定し直すか、現在の設定に追加するかを選択できます。

- **手動設定**
  リモコンの数字ボタンに、どのチャンネルを割り当てるかを設定します。



1 **▲▼で変更したいリモコン番号を選んで (決定) を押す**

2 **◀ ▶でチャンネル変更し (決定) を押す**

3 **▶で設定完了**

チャンネルスキップ設定

チャンネルでチャンネルを選局するときに、不要なチャンネルを飛び越す（スキップ）ことができます。

1 以下の操作で「チャンネルスキップ設定」画面を表示する

メニューを押します。

▲▼ で「その他の設定」を選び 決定 を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び 決定 を押します。

▲▼ で「チャンネル設定」を選び 決定 を押します。

▲▼ で「チャンネルスキップ設定」を選び 決定 を押します。

「地上デジタル」で 決定 を押します。

2 スキップ設定を変更したいチャンネルを ▲▼ で選び 決定 を押す

地上デジタルチャンネルスキップ設定

	チャンネル	放送局	スキップ
	地デジ 011	XXX 総合１・東京	受信
	地デジ 012	XXX 総合２・東京	スキップ
	地デジ 021	XXX テレ１教育	受信
	地デジ 022	XXX テレ２教育	受信
	地デジ 023	XXX テレ３教育	受信
	地デジ 041	XX テレ１	受信

⬆⬇ 青 で選び 決定 で設定 / 解除 戻る で前画面

- 決定 を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。

チャンネル設定を最初の状態に戻す

すべてのチャンネル設定と、「登録されている郵便番号」「音量」をお買い上げ時の状態に戻します。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面を表示する

メニューを押します。

▲▼ で「その他の設定」を選び 決定 を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び 決定 を押します。

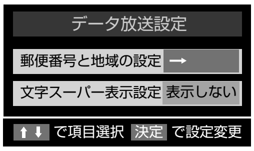
▲▼ で「チャンネル設定」を選び 決定 を押します。

2 ▲▼ で「初期設定に戻す」を選び 決定 を押す

3 ◀▶ で「はい」を選び 決定 を押す

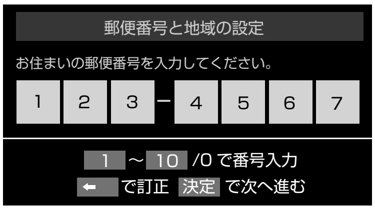
初期設定メニュー

データ放送設定



データ放送を見るときの設定を行います。

- **郵便番号入力**
  お住まいの地域の郵便番号を入力しておくと、データ放送で地域の情報を得ることができます。

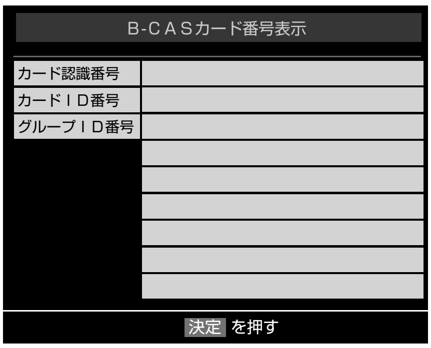


  数字ボタン（①～⑩）を押して郵便番号を入力します。「0」は ⑩ ボタンで入力します。

- **文字スーパー表示設定**
  見ている番組とは連動せずに、ニュース速報などを表示します。
  「表示する」「表示しない」が設定できます。
  「表示する」を選択した場合は、優先して表示する言語を選択できます。

B-CAS カード番号表示

本機にセットされている miniB-CAS カードの番号を表示します。



簡易確認テスト

引越しなどでチャンネル設定を変更した場合や、miniB-CAS カードの状態を確認したいときなどに、簡単な確認テストをすることができます。

1 以下の操作で「初期設定」画面を表示する

(メニュー)を押します。

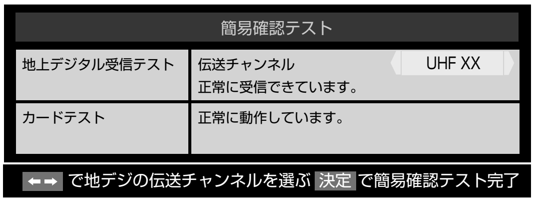
▲▼ で「その他の設定」を選び (決定) を押します。

▲▼ で「初期設定」を選び (決定) を押します。

2 ▲▼ で「簡易確認テスト」を選び (決定) を押す

確認テストが始まります。

テスト結果については下表をご覧ください。



「地上デジタル受信テスト」の伝送チャンネルを変更するには：

① ◀▶ で伝送チャンネルを選ぶ
- 受信テストが始まり、結果が表示されます。
- 他の伝送チャンネルをテストする場合も同じ操作をします。

3 簡易確認テストが終了したら (決定) を押す

テスト項目	テスト結果の表示	内容または対処方法
地上デジタル受信テスト 地上デジタル放送が受信できることをテストします。	「正常に受信できています。」	—
	「正しく受信できません。」	• アンテナの接続とアンテナレベルを確認してください。
カードテスト 本機で使えるminiB-CASカードかどうかテストします。	「正常に動作しています。」	—
	「B-CAS カードを正しく挿入してください。」	• miniB-CAS カードを正しい向きで挿入後、もう一度簡易確認テストをしてください。
	「この B-CAS カードはご使用になれません。正しい B-CAS カードを挿入してください。」	
	「この B-CAS カードはご使用になれません。」	• miniB-CAS カードを確かめてください。 • miniB-CAS カードを交換してください。 • カードに記載の B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
	「B-CAS カードが故障しています。」	

設定の初期化

すべての項目を初期化し、お買い上げになった時に戻します。

機能設定

暗証番号の設定

視聴年齢制限の設定を変更するには、暗証番号の設定が必要になります。

1 **以下の操作で「視聴制限設定」画面を表示する**

(メニュー)を押します。

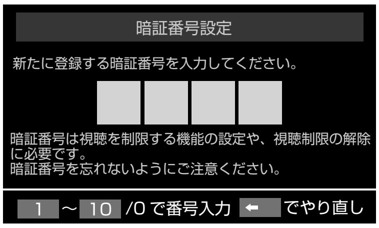
▲▼ で「その他の設定」を選び (決定) を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び (決定) を押します。

▲▼ で「視聴制限設定」を選び (決定) を押します。

2 **▲▼ で「暗証番号設定」を選び (決定) を押す**

1～10/0でお好みの 4 桁の暗証番号を入力します。



3 **1～10/0でもう一度暗証番号を入力し確認画面で (決定) を押す**

暗証番号の削除

1 **以下の操作で「視聴制限設定」画面を表示する**

(メニュー)を押します。

▲▼ で「その他の設定」を選び (決定) を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び (決定) を押します。

▲▼ で「視聴制限設定」を選び (決定) を押します。

2 **▲▼ で「暗証番号削除」を選び (決定) を押す**

3 **1～10/0で暗証番号を入力し確認画面で (決定) を押す**

4 **確認画面で ◀▶ で「はい」を選び (決定) を押す**

視聴年齢制限設定

デジタル放送では、番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。推奨視聴年齢がある番組を制限するには、暗証番号および以下の設定が必要になります。

1 **以下の操作で「視聴制限設定」画面を表示する**

(メニュー)を押します。

▲▼ で「その他の設定」を選び (決定) を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び (決定) を押します。

▲▼ で「視聴制限設定」を選び (決定) を押します。

2 **▲▼ で「視聴年齢制限設定」を選び (決定) を押す**

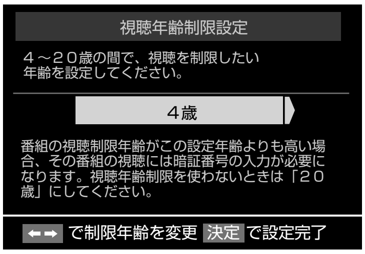
暗証番号の入力画面になります。

3 **1～10/0で暗証番号を入力し (決定) を押す**

4 **◀▶ で年齢を設定し (決定) を押す**

設定できる年齢は、4 歳から 20 歳（制限しない）までです。

お買い上げ時は、視聴年齢制限は設定されていません。



ご注意

- 暗証番号忘れてしまうと、視聴制限設定を変更することができなくなります。暗証番号をリセットする場合は、修理対応になりますのでご注意ください。

タイマー機能メニュー

オンタイマーを使う

設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合は使用できません。

1 **メニュー を押す**

2 **▲▼ で「タイマー機能」を選び 決定 を押す**

3 **▲▼ で「オンタイマー」を選び 決定 を押す**



4 **「オンタイマー」で設定する項目を ▲▼ で選び 決定 を押す**

オンタイマー機能

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。
①▲▼ で「オンタイマー機能」を選び 決定 を押す
②▲▼ で「入」を選び 決定 を押す

- 一度オンタイマーを設定したあとに解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

日時

オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。
①▲▼ で「日時」を選び 決定 を押す
②◀▶ で設定する項目を選び▲▼で日時を選ぶ

- 曜日は「毎日」、「毎週（日）」〜「毎週（土）」、「月〜木」、「月〜金」「月〜土」の中から選びます。



③設定が終わったら 決定 を押す

チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。
①▲▼ でチャンネルを選び 決定 を押す
②設定が終わったら 決定 を押す

音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定します。
①▲▼ で「音量」を選び 決定 を押す
②▲▼ でお好みの音量を選び 決定 を押す

5 **「オンタイマー」を「入」にした後、リモコンの電源ボタンで電源を切る**

本体の電源ボタンで電源を切らないでください。

本体の電源ボタンで電源を切っているときは、オンタイマーが機能しません。

※ オンタイマー作動後、無操作状態が約 1 時間続くと自動的に電源が切れます。
このとき画面には、「まもなく電源が切れます」と表示されます。

※ オンタイマー機能を「入」にすると電源ランプが紫色になり、オンタイマーが設定されていることを示します。

タイマー機能メニュー

オフタイマーを使う

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて待機状態になります。

1 メニュー を押す

2 ▲▼ で「タイマー機能」を選び 決定 を押す

3 ▲▼ で「オフタイマー」を選び 決定 を押す

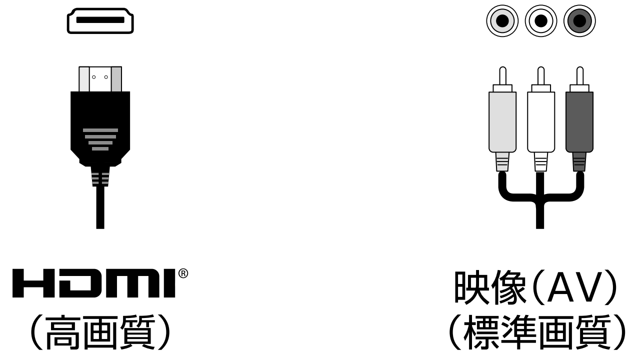


4 ▲▼ で設定時間を選び 決定 を押す

- 電源が切れる 1 分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときに メニュー を押すと、メニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

再生機器を接続する

本機にブルーレイ/DVD プレーヤーやビデオカメラ、ゲーム機などの AV 機器を接続することができ、高精細、高画質に対応した HDMI 端子に接続すると、よりきれいな映像を楽しむことができます。
接続する機器の出力端子によっては、標準的な画質の映像端子をお選びください。



お知らせ

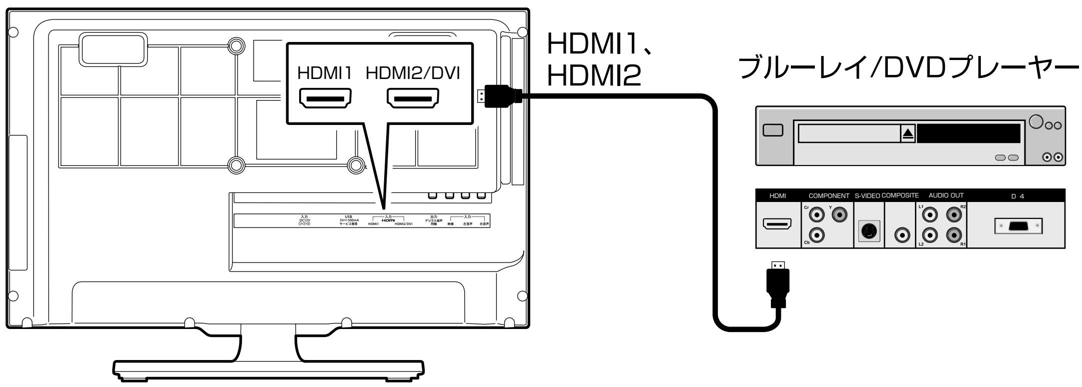
- 接続に使用するケーブル類は、本機に付属していません。外部機器を接続するときは、あらかじめ必要なケーブル類をご確認の上、お客様にてご用意ください。

外部機器を接続する際のご注意

- 接続する機器に付属の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 接続するプラグは奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分だと、ノイズが発生する原因になります。

HDMI 端子を使う場合

ブルーレイ／ DVD プレーヤー、ケーブル TV や衛星放送のセットトップボックスなどの HDMI 端子に本機を接続することができます。
HDMI ケーブルは、接続するだけでデジタル信号のまま映像と音声信号を同時に入力することができます。



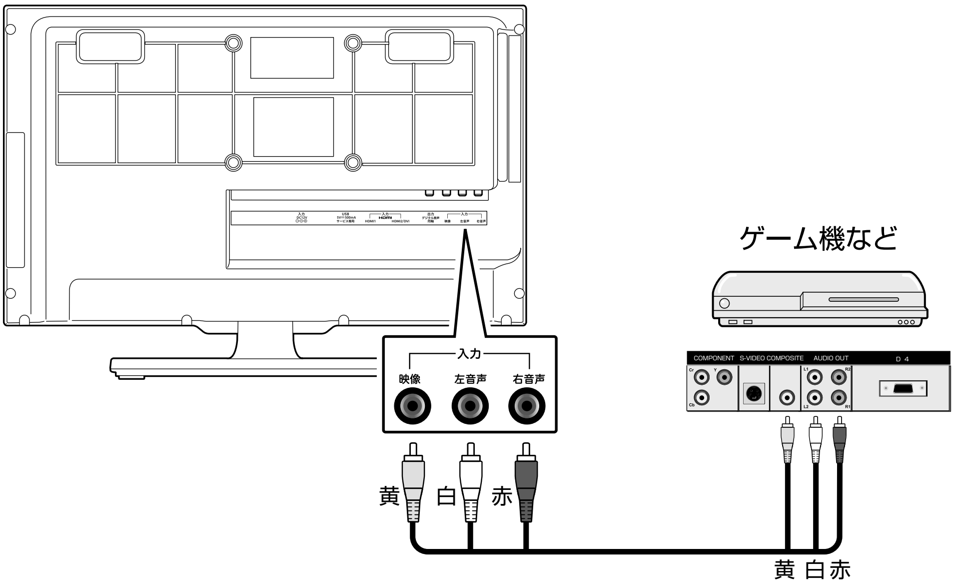
お知らせ

- 接続する機器は、HDMI の標準技術規格に対応したものをお使いください。

再生機器を接続する

映像端子を使う場合

本機にビデオデッキや DVD プレーヤー、ゲーム機などを接続することができます。



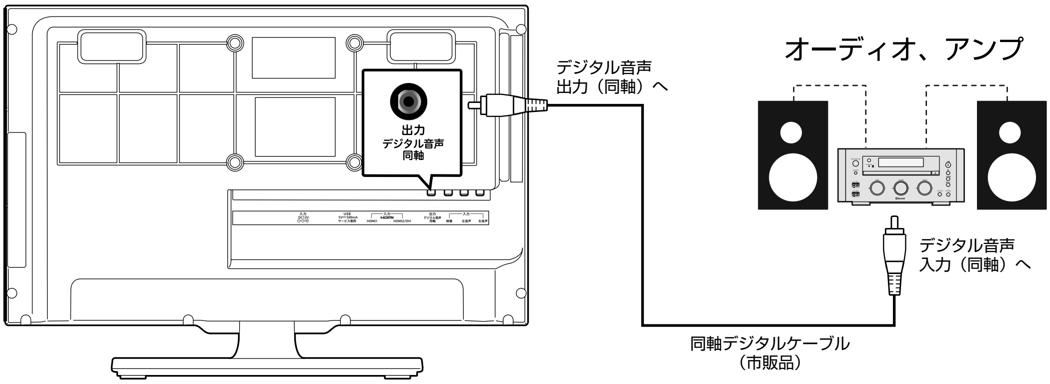
ご注意

- 本機と外部機器を接続するときに、入出力端子を間違えて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 映像と音声端子がそれぞれ正しく接続されていることを確認してください。
- モノラル機器と接続するときは、音声端子を L（左）、R（右）のどちらに接続するのかを、接続する機器に付属の取扱説明書で確認してください。

デジタル音声出力端子を使う場合

AAC 対応の AV アンプに接続すると、5.1ch サラウンドでデジタル放送を楽しむことができます。

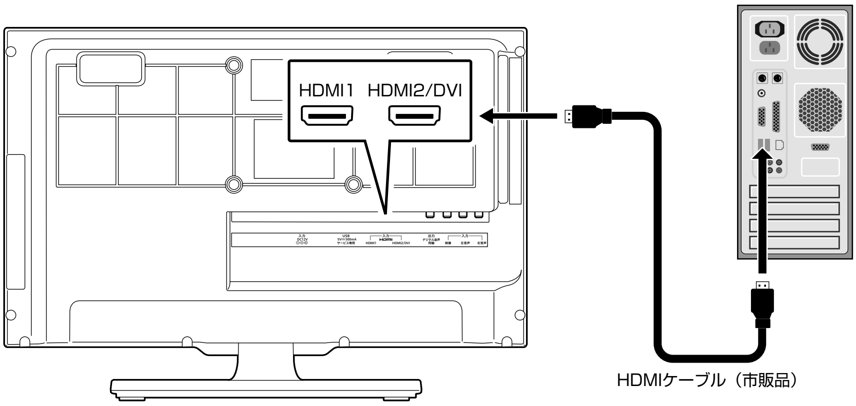
- お買い上げ時のデジタル音声出力のフォーマットは「PCM」に設定されています。5.1ch サラウンドを楽しむときには、設定を変更してください。（29 ページを参照）
- 著作権が保護されている番組では、デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。



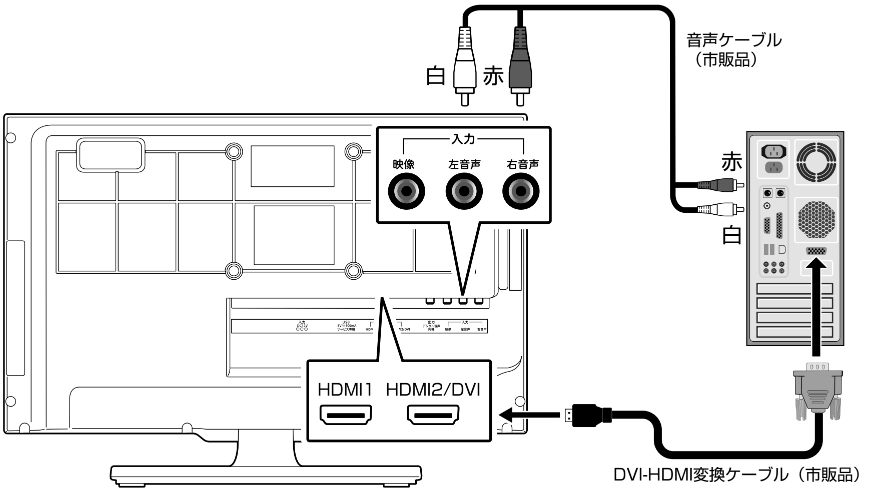
パソコンを接続する

本機にパソコンを接続して、パソコンのモニターの替わりとして使用することができます。
パソコン側に HDMI 出力端子が付いている場合は、HDMI ケーブルで接続できます。
DVI 出力端子が付いている場合は、DVI-HDMI 変換ケーブルなどで接続できます。また、DVI 接続の場合は、音声ケーブルの接続も必要になります。

● HDMI ケーブルで接続する場合



● DVI-HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルで接続する場合（HDMI2/DVI）



パソコンの音声を本機のスピーカーで聴く場合は、HDMI2/DVI端子と接続し、メニューのHDMI2音声入力設定をアナログに切り替えます。（45ページの「HDMI2音声入力設定」を参照してください。）

ご注意

- 接続するパソコンに付属の取扱説明書もご覧ください。
- 対応出力フォーマットは、接続するパソコンの仕様を確認してください。
- 画面設定は、1360 × 768 @ 60Hz、1024 × 768 @ 60Hz、800 × 600 @ 60Hz、640 × 480 @ 60Hz に対応しています。
- 接続するパソコンによっては、内容を正しく表示できない場合があります。
- Dot by Dot には対応していません。適正解像度でも若干にじんだ表示になる場合があります。
- DVI-HDMI 変換ケーブルで HDMI1 端子に接続した場合は、音声ケーブルを接続しても音声は出力されません。

お知らせ

- 接続する前に、パソコンに付属の取扱説明書の仕様を確認し、表示できる画面設定（解像度、周波数）に変更してください。
- 本機にパソコンを接続したときの表示設定は、最良に近い状態に自動調整されます。

HDMI 連動設定

1 **以下の操作で「HDMI 連動設定」画面を表示する**

(メニュー) を押します。

▲▼ で「その他の設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「CEC 設定」を選び、(決定) を押します。

「HDMI 連動設定」を選び、(決定) を押します。



※ CEC についてはメーカーごとにカスタムされている場合が多く、正しく動作しない場合があります。

2 **設定する項目を ▲▼ で選んで (決定) を押し、右表の手順で設定する**



3 **(終了) を押してメニューを終了する**

項目	説明および操作手順
HDMI連動機能	• HDMI の各種連動制御を使用するかを設定します。 ① ▲▼で「使用する」または「使用しない」を選び、(決定) を押す。
HDMI連動機器リスト	• 一台以上の HDMI 連動機器を接続するとき、リストから HDMI 連動機器を一台選択します。 ① ▲▼で機器を選び、(決定) を押す。 ② (赤) を押すと、HDMI の接続を再検出します。
連動機器→テレビ入力切換	• 連動機器を再生操作したときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。（本機の電源が「入」の場合） ① ▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、(決定) を押す。
連動機器→テレビ電源	• 連動機器の電源を入れたときに、自動的に本機の電源が入ります。 ① ▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、(決定) を押す。
テレビ→連動機器電源オフ	• 本機の電源を切ったときに、自動的に連動機器の電源が切れます。 ① ▲▼で「連動する」または「連動しない」を選び、(決定) を押す。

外部入力設定

外部入力スキップ設定

入力切換時、使用していない入力をスキップする（飛び越す）ことができます。

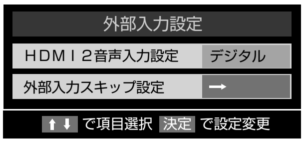
1 以下の操作で「外部入力設定」画面を表示する

(メニュー) を押します。

▲▼ で「その他の設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「外部入力設定」を選び、(決定) を押します。



2 ▲▼ で「外部入力スキップ設定」を選び (決定) を押す



3 設定する外部入力を ▲▼ で選び (決定) を押す

(決定) を押すたびに「スキップ」を「する」「しない」交互に切り換わります。

- 「する」 ......入力切換時、スキップします。
- 「しない」...入力切換時、スキップしません。

4 (終了) を押す

HDMI2 音声入力設定

HDMI 入力 2 端子に DVI 出力機器などを接続して、音声を本機から出力したいときに、映像入力は HDMI 入力 2 を使用し、音声入力はビデオ入力端子を使用するように設定できます。

1 以下の操作で「外部入力設定」画面を表示する

(メニュー) を押します。

▲▼ で「その他の設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「機能設定」を選び、(決定) を押します。

▲▼ で「外部入力設定」を選び、(決定) を押します。



2 ▲▼ で「HDMI2 音声入力設定」を選び (決定) を押す



3 ▲▼ で以下の項目から選び (決定) を押す

- デジタル ....HDMI 入力 2 端子に、映像・音声ともに入力する場合は、この設定にします。
- アナログ ....HDMI 入力 2 端子に接続した機器の音声を、ビデオ入力端子からアナログで入力する場合は、この設定にします。

4 (終了) を押す

アンテナの方向調整と設定

アンテナレベル

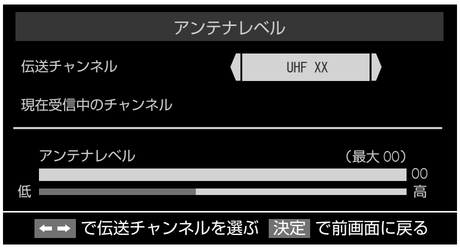
「はじめての設定」をしても地上デジタル放送が正しく受信できないときは、お買い上げの販売店などにご相談のうえ、以下の操作でアンテナの方向を調整してください。

1　以下の操作で「アンテナレベル」画面を表示する

（メニュー）を押します。

▲▼ で「その他の機能」を選び、（決定）を押します。

▲▼ で「アンテナレベル」を選び、（決定）を押します。



2　◀▶ で「伝送チャンネル」を選ぶ

お住まいの地域の地上デジタル放送に対応した伝送チャンネルを選びます。

◀▶ を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF1 ～ VHF12 ↔ UHF13～UHF62 ↔ CATV13～CATV63

3　アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

アンテナレベルの増減に応じて、横棒グラフが表示されます。

4　アンテナを固定して（決定）を押す

5　（終了）を押す

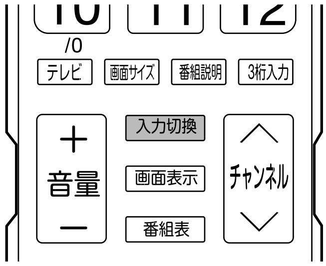
接続した機器の映像を見る（入力切換）

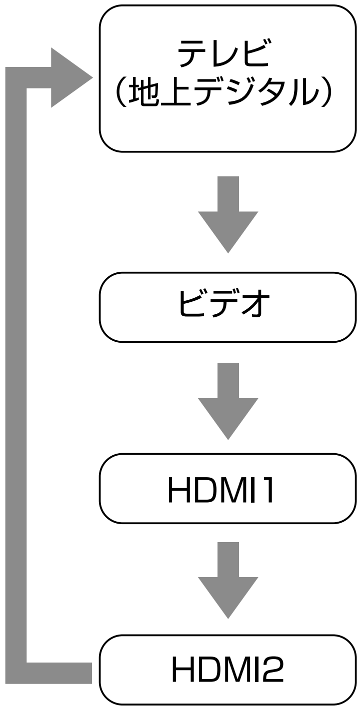
外部入力端子に接続した DVD プレーヤーやビデオデッキなどの入力を切り換えます。

1 [入力切換] **を押す**

2 [入力切換] **を繰り返し押して入力モードを選ぶ**







お知らせ

- 本体背面の入力切換スイッチでも入力切換ができます。
- 音量調節は本機のリモコンで行いますが、その他の操作は、接続した機器に付属の取扱説明書に従って操作してください。

地域別チャンネル表

リモコンの数字ボタンに割り当てられる地上デジタル放送局は下表のとおりです。（まだ放送を開始していない放送局もあります）
引越しや新しく放送局が開局された場合などに、チャンネルを割り当て直したいときは、初期設定メニューを表示し、「チャンネル設定」の「地上デジタル自動設定」で「地域選択」と「初期スキャン」または「再スキャン」を行ってください。

お住まいの地域	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）	
チャンネル名	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広	3	NHK総合・釧路	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭
	2	NHKEテレ札幌	2	NHKEテレ函館	2	NHKEテレ旭川	2	NHKEテレ帯広	2	NHKEテレ釧路	2	NHKEテレ北見	2	NHKEテレ室蘭
	1	HBC札幌	1	HBC函館	1	HBC旭川	1	HBC帯広	1	HBC釧路	1	HBC北見	1	HBC室蘭
	5	STV札幌	5	STV函館	5	STV旭川	5	STV帯広	5	STV釧路	5	STV北見	5	STV室蘭
	6	HTB札幌	6	HTB函館	6	HTB旭川	6	HTB帯広	6	HTB釧路	6	HTB北見	6	HTB室蘭
	8	UHB札幌	8	UHB函館	8	UHB旭川	8	UHB帯広	8	UHB釧路	8	UHB北見	8	UHB室蘭
	7	TVH札幌	7	TVH函館	7	TVH旭川	7	TVH帯広	7	TVH釧路	7	TVH北見	7	TVH室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
チャンネル名	3	NHK総合・仙台	1	NHK総合・秋田	1	NHK総合・山形	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・福島	3	NHK総合・青森	1	NHK総合・東京
	2	NHKEテレ仙台	2	NHKEテレ秋田	2	NHKEテレ山形	2	NHKEテレ盛岡	2	NHKEテレ福島	2	NHKEテレ青森	2	NHKEテレ東京
	1	TBCテレビ	4	ABS秋田放送	4	YBC山形放送	6	IBCテレビ	8	福島テレビ	1	RAB青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT秋田テレビ	5	YTS山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	TOKYO MX
													12	放送大学

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
チャンネル名	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・前橋	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・宇都宮	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・長野
	2	NHKEテレ東京	2	NHKEテレ東京	2	NHKEテレ水戸	2	NHKEテレ東京	2	NHKEテレ東京	2	NHKEテレ東京	2	NHKEテレ長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	abn長野朝日放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	tvk	3	群馬テレビ	12	放送大学	3	チバテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレ玉		
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学		

お住まいの地域	新潟		山梨		大阪		京都		兵庫		和歌山		奈良	
チャンネル名	1	NHK総合・新潟	1	NHK総合・甲府	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・京都	1	NHK総合・神戸	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良
	2	NHKEテレ新潟	2	NHKEテレ甲府	2	NHKEテレ大阪	2	NHKEテレ大阪	2	NHKEテレ大阪	2	NHKEテレ大阪	2	NHKEテレ大阪
	6	BSN	4	YBS山梨放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	8	NST	6	UTY	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	4	TeNYテレビ新潟			8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	5	新潟テレビ21			10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
					7	テレビ大阪	5	KBS京都	3	サンテレビ	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀		広島		岡山		香川		島根		鳥取		山口	
チャンネル名	1	NHK総合・大津	1	NHK総合・広島	1	NHK総合・岡山	1	NHK総合・高松	3	NHK総合・松江	3	NHK総合・鳥取	1	NHK総合・山口
	2	NHKEテレ大阪	2	NHKEテレ広島	2	NHKEテレ岡山	2	NHKEテレ高松	2	NHKEテレ松江	2	NHKEテレ鳥取	2	NHKEテレ山口
	4	MBS毎日放送	3	RCCテレビ	4	RNC西日本テレビ	4	RNC西日本テレビ	8	山陰中央テレビ	8	山陰中央テレビ	4	KRY山口放送
	6	ABCテレビ	4	広島テレビ	5	KSB瀬戸内海放送	5	KSB瀬戸内海放送	6	BSSテレビ	6	BSSテレビ	3	tysテレビ山口
	8	関西テレビ	5	広島ホームテレビ	6	RSKテレビ	6	RSKテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	yab山口朝日
	10	読売テレビ	8	TSS	7	テレビせとうち	7	テレビせとうち						
	3	BBCびわ湖放送			8	OHKテレビ	8	OHKテレビ						

地域別チャンネル表

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
チャンネル名	3	NHK総合・名古屋	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡	1	NHK総合・福井	3	NHK総合・富山
	2	NHKEテレ名古屋	2	NHKEテレ名古屋	2	NHKEテレ名古屋	2	NHKEテレ金沢	2	NHKEテレ静岡	2	NHKEテレ福井	2	NHKEテレ富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBC	1	KNB北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT富山テレビ
	6	メ~テレ	6	メ~テレ	6	メ~テレ	6	MRO	4	だいいちテレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	ぎふチャン								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK総合・松山	3	NHK総合・徳島	1	NHK総合・高知	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎	3	NHK総合・鹿児島
	2	NHKEテレ松山	2	NHKEテレ徳島	2	NHKEテレ高知	3	NHK総合・北九州	2	NHKEテレ熊本	2	NHKEテレ長崎	2	NHKEテレ鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHKEテレ福岡	3	RKK熊本放送	3	NBC長崎放送	1	MBC南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHKEテレ北九州	8	TKUテレビ熊本	8	KTNテレビ長崎	8	KTS鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC九州朝日放送	4	KKTくまもと県民	5	NCC長崎文化放送	5	KKB鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB毎日放送	5	KAB熊本朝日放送	4	NIB長崎国際テレビ	4	KYT鹿児島読売TV
							5	FBS福岡放送						
							7	TVQ九州放送						
							8	TNCテレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄	
チャンネル名	1	NHK総合・宮崎	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・佐賀	1	NHK総合・那覇
	2	NHKEテレ宮崎	2	NHKEテレ大分	2	NHKEテレ佐賀	2	NHKEテレ沖縄
	6	MRT宮崎放送	3	OBS大分放送	3	STSサガテレビ	3	RBCテレビ
	3	UMKテレビ宮崎	4	TOSテレビ大分			5	QAB琉球朝日放送
			5	OAB大分朝日放送			8	沖縄テレビ(OTV)

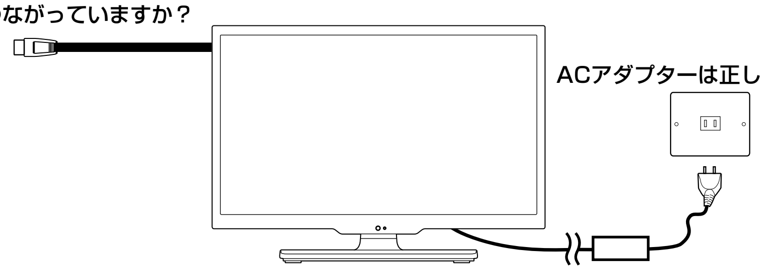
- 一覧の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前に、もう一度ご確認ください。

まず確認してください

電源が入らなかったり、放送が映らなかったりした場合は、まず以下の接続を確認してください。



こんな場合は故障ではありません

- 画面上の赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
  液晶画面は高精度の技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」いうきしみ音が出る
  部屋の温度変化によってキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
  電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をしますが、このとき内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因	対処方法
すべての操作を受け付けない	• ソフトウェアのエラーや静電気の影響などで、誤動作している可能性があります。	• 本体の電源スイッチを約 5 秒間長押しすると、電源ランプが点滅して再起動します。 それでも操作を受け付けない場合は、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンターにご連絡ください。
電源が入らない	• AC アダプターの電源プラグが、コンセントから抜けていませんか？	• AC アダプターの接続を確認してください。
電源が突然切れた	• オフタイマーを設定していませんか？	• オフタイマーの設定を確認してください。

症状	原因	対処方法
リモコンで本機を操作できない	• リモコンを受光部に向けていますか？	• リモコンを受光部に向けてください。
	• リモコン受光部に、お部屋の蛍光灯の強い光があたっていませんか？	• リモコン受光部に強い光を当てないでください。
	• 乾電池が消耗していませんか？	• 新しい乾電池に交換してみてください。
	• 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？	• 正しく入れ直してください。

映像

症状	原因	対処方法
映像が出ない	• アンテナは正しくつながっていますか？	• アンテナの接続を確認してください。
	• 明るさは正しく調整されていますか？	• 明るさ（コントラスト・黒レベル・バックライト）の調整をし直してください。
	• 外部機器と正しく接続されていますか？	• 外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	• AC アダプターの電源プラグが、コンセントから抜けていませんか？	• AC アダプターの接続を確認してください。
	• 電源は入っていますか？	• 電源を入れてください。
	• テレビ以外の入力モードになっていませんか？	• テレビモードに設定してください。
映像、音声ともにノイズしか出ない	• アンテナケーブルは正しく接続されていますか？	• アンテナの接続を確認してください。
映像や音声が突然出なくなる、または時々出なくなる 映像が突然静止する、または時々静止する	• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？	• アンテナを調整してください。
	• アンテナ線の劣化が考えられます。	• アンテナ線を確認してください。
	• アンテナへの着雪、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、またアンテナに雪が積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。	• 天候の回復を待ってください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対処方法
映りが悪い	• アンテナケーブルは正しく接続されていますか？	• アンテナの接続を確認してください。
	• 電波状態が悪いことが考えられます。	• アンテナを調整してください。
色あいが悪い、色が薄い	• 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか？	• 映像モードの調整をし直してください。
画面が暗い	• 明るさは正しく調整されていますか？	• 明るさ（コントラスト・黒レベル・バックライト）の調整をし直してください。
接続した機器の映像が出ない	• 外部機器は正しくつながっていますか？	• 外部機器の接続と電源を確認してください。
	• 入力モードは正しいですか？	• リモコンまたは本体の入力切換ボタンで、入力を切り換えてください。

音声

症状	原因	対処方法
音が出ない	• 音量が最小になっていませんか？	• 「音量」ボタンを押して音量を大きくしてください。
	• 「消音」状態になっていませんか？	• 再度「消音」ボタンを押してください。
	• ヘッドホン端子にヘッドホンまたはイヤホンが接続されていませんか？	• ヘッドホン端子を確認してください。

デジタル放送

症状	原因	対処方法
地上デジタル放送が受信できない	• miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？	• miniB-CAS カードを確認ください。
	• 地上デジタル放送用のアンテナは正しく接続されていますか？	• アンテナの接続を確認してください。
引越ししたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 「初期設定」は正しく設定されていますか？	• 「初期設定」の「地上デジタル自動設定」をやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	• お買い上げ直後や、長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。	• しばらく視聴したあとに、再度確認してください。
字幕が出ない	• 字幕のついていない番組を視聴していませんか？	• 番組情報で字幕放送か確認してください。
	• 字幕設定が「字幕オフ」になっていませんか？	• 字幕設定を「日本語字幕」に設定してください。

エラーメッセージ一覧

代表的なエラーメッセージ表示について説明します。

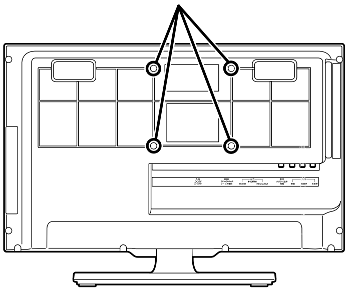
デジタル放送

メッセージ	対処方法
このチャンネルはご覧になれません	• 未放送のチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。
放送が受信できません	• 雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下していますので、しばらくお待ちください。 • アンテナの接続が正しく行われているかを確認してください。
現在放送されていません	• 放送休止中のチャンネルを選局しています。別のチャンネルを選局してください。
チャンネルが設定されていません	• チャンネルが割り当てられていない数字キーを押したときに表示されます。別のチャンネルを選局してください。
この B-CAS カードは使用できません	• miniB-CAS カードが挿入されていない、または使用できないカードが挿入されています。付属の miniB-CAS カードを正しく挿入してください。
B-CAS カードが正しく挿入されていません	• miniB-CAS カードが正しく挿入されていないときに表示されます。miniB-CAS カードが正しく挿入されているかを確認してください。
この B-CAS カードは交換が必要です B-CAS カードが故障しています	• miniB-CAS カードが故障していますので、カードに記載の B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。
この IC カードはご使用になれません	• 使用できないカードが挿入されています。miniB-CAS カードを挿入してください。
放送チャンネルではないためご覧になれません	• 放送チャンネルを選択し直してください。
未読メールがあります	• ソフトウェアアップデートなどの情報メールが届いています。お知らせを確認してください。
ソフトウェアのダウンロード中です	• ソフトウェアをダウンロードしています。そのままお待ちください。

壁に掛けて使用するとき

本機は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

- テレビを取り付ける壁の強度には十分ご注意ください。
- 壁掛け金具の取り付けは、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 壁への取り付けが不完全または誤った据え付け方をすると、テレビが落下して打撲や骨折など、大けがの原因になることがあります。



お知らせ

ネジ穴寸法は DTC19-11B：100mm × 100mm、DTC32-11B：200mm × 100mm です。
VESA 規格に準じた金具をご使用できます。
取り付けネジは以下のサイズをご使用ください。

- DTC19-11B：M4 × 12mm (4 本)
- DTC32-11B：M6 × 14mm (4 本)

ご使用の金具により、ネジが若干長い場合は、ワッシャーを入れて調整ください。

ご注意

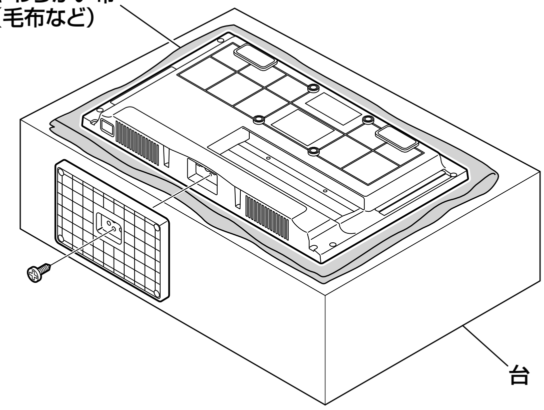
- 長いネジを使用すると、内部の部品へダメージを与え製品を損傷します。

スタンドのはずしかた

本機を壁掛けで使用するときは、スタンドを取りはずしてください。

1 台などの上にやわらかい布（毛布など）を敷き、液晶画面を下向きにして本機を置く

2 スタンド固定用ネジ（19 インチ：4 本、32 インチ：3 本）を取りはずし、スタンドを本体の下方向に引いてはずす



ご注意

- 液晶パネルを傷つけないよう、取り扱いにご注意ください。
- 取りはずしたスタンドとネジは、大切に保管してください。再度スタンドを取り付ける場合に必要です。

主な仕様

テレビ

型名		DTC19-11B	DTC32-11B
液晶パネル	画面サイズ	19V 型	32V 型
液晶パネル	バックライト	LED	
液晶パネル	区分名	DK	DN
液晶パネル	画素数	1366(H) × 768(V)	
液晶パネル	応答速度	5ms	6ms
液晶パネル	視野角 (最小値)	左右約 170°（MIN）/ 上下約 160°（MIN）	左右約 178°（MIN）/ 上下約 178°（MIN）
液晶パネル	輝度 (最大値)	200cd/m^2	250cd/m^2
液晶パネル	コントラスト比 (標準値)	1000：1	1200：1
受信チャンネル		地上デジタル：UHF(13 ～ 62ch) CATV パススルー (VHF,UHF) 対応	
音声出力 (スピーカー)		3W ＋ 3W	5W ＋ 5W
入力・出力端子	ビデオ入力	映像：１V(p-p)、75 Ω、負荷器 音声：500mV(rms)、22k Ω以上 (インピーダンス)	
入力・出力端子	HDMI 入力 × 2	HDMI　CEC 対応 HDMI 対応入力解像度： 480i , 480p , 720p , 1080i , 1080/60p , 1080/24p パソコン対応入力解像度：640 × 480@60Hz, 800 × 600@60Hz, 1024 × 768@60Hz, 1280 × 1024@60Hz, 1360 × 768@60Hz 推奨解像度：1360 × 768@60Hz	
入力・出力端子	ヘッドホン出力	ヘッドホン端子口径 3.5mm ステレオミニジャック、 適合インピーダンス 16 Ω～	
データ放送		データ放送（BML）対応（双方向サービスは対応していません。）	
番組表		電子番組表 (EPG)： ラテ欄表示形式　5 時間 /6 チャンネル /8 日間　視聴予約可能	
使用環境 / 保管環境		温度：5°～ 40°／－ 20°～ 50° 湿度：20% ～ 80%RH/ 10% ～ 90%RH（結露なきこと) 高度：0 ～ 2,000m / 0 ～ 3,790m	
サイズ（W.D.H）　約		439 × 155 × 306	736 × 180 × 483
重量　約		2.7kg	6.0kg
消費電力		30W	60W
年間消費電力		33kWh/ 年	53kWh/ 年
付属品		リモコン (RT-001)、リモコン用単 4 乾電池× 2 個、miniB-CAS カード× 1 枚、スタンド× 1 個、スタンド固定ネジ× 4 本 (19 インチ)/3 本 (32 インチ)、取扱説明書× 1 部、保証書× 1 部、AC アダプター× 1 個、DC ケーブル× 1 本	

年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。
このテレビをご使用できるのは、日本国内のみで海外では使用できません。

主な仕様

リモコン（RT-001）

電源	DC 3V（単４形乾電池× 2）
質量	92.5 g（乾電池を含まない）
リモコン操作距離	約 7 m（ただし直進）

＊ 製品仕様は予告なく変更されることがあります。

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」の内容をチェックして、問題が解決できるか確認してください。問題が解決しないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店もしくはドウシシャサービスセンターまでご連絡ください。

修理について

当社は出張修理を行っておりません。センドバック修理となりますので予めご了承ください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」の記入をご確認の上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。
保証期間……お買い上げ日から1 年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはドウシシャサービスセンターまでお問い合わせください。

株式会社ドウシシャ
（東京支社）〒 108-8573　東京都港区高輪 2-21-46
（大阪本社）〒 542-8525　大阪市中央区東心斎橋 1-5-5

■故障・修理についてのご相談に関しては…
⇒ドウシシャ福井 AV サービスセンター
【受付時間】9：00 ～ 17：00（土日祝日以外の月～金曜日）
〒 915-0801 福井県越前市家久町 41-1
TEL 0778（24）2779　FAX0778（24）2799

※商品名、品番をご確認のうえ、お電話いただきますようお願いいたします。
※ FAX もしくは、お電話をいただいた際にお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

有償修理とさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容

●ご住所・お名前・電話番号
●製品名・品番・お買い上げ日・お買い上げ販売店名
●故障または異常の内容（できるだけ詳しくご連絡ください）

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

修理・ご相談における個人情報の取り扱いについて

株式会社ドウシシャ（以下「当社」）は、お客さまよりお知らせいただいたお客様の氏名･住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。
当社は、お客さまの個人の情報を、製品へのご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合は、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

ソフトウェアのライセンス情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに第三者の著作権が存在します。

本製品は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しての問い合わせは、ドウシシャサービスセンターへお願いいたします。

また、本製品のソフトウェアコンポーネントには、開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適用を受けない開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本製品は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本製品に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

本製品で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　原文（英文）

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel busybox	Exhibit A
glibc gcc	Exhibit B
malloc	Exhibit C
YAMON	YAMON
	Access

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.
1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)
   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)
   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.
   For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED

BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail. If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries.

In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

**GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING,
DISTRIBUTION AND MODIFICATION**

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

   The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defi ned independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machinereadable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables..
When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defi ned by law.
If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)
Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.
6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.
7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.
8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.
10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.
11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License.
If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all.
For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.
12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc / free / realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu
VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)
Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c
Check before installing!

YAMON;

SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("Agreement")
IMPORTANT- This Agreement legally binds you (either an individual or an entity), the end user ("Licensee"), and MIPS Technologies, Inc. ("MIPS") whose street address and fax information is 1225 Charleston Road, Mountain View, California 94043, Fax Number (650) 567-5154.

1. DEFINITIONS-

The following definitions apply to this Agreement:."Authorized Product" shall mean a product developed by MIPS or under a license that was granted by MIPS.
"Documentation" shall mean documents (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion), and any information, whether in written, magnetic media, electronic or other format, provided to Licensee describing the Software, its operation and matters relating to its use.
"GPL Materials" shall mean any source or object code provided by MIPS to Licensee under the terms of the GNU General Public License, Version 2, June 1991 or later ("GNU GPL").
"IP Rights" shall mean intellectual property rights including, but not limited to, patent, copyright, trade secret and mask work rights.
"Licensee Code Modifications" shall mean any modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS, made by or on behalf of Licensee.
"MIPS Code Modifications" shall mean modifications to YAMON Code and/or other code provided to Licensee by MIPS or any third party licensed by MIPS, wherein such third party grants back to MIPS a license under such code modifications with the rights to sublicense and grant further sublicenses.
"MIPS Deliverables" shall mean the Software, Documentation and any other information or materials provided by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement except for GPL Materials.
"Software" shall mean software containing YAMON Code, any other source and/or object code provided by MIPS at its sole discretion, and any Documentation contained in such software at MIPS' sole discretion.
"YAMON Code" shall mean source and/or object code for the YAMON monitor software, Ver. 1.01, or later (including any updates provided or made available by MIPS solely at its discretion).

2. MIPS LICENSE GRANTS

(a) Subject to Licensee's compliance with the terms and conditions of this Agreement and payment of any fees owed to MIPS, MIPS grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license to:
  (i) use the MIPS Deliverables at Licensee's facilities solely for Licensee's internal evaluation and development purposes (and to use, copy and reproduce and have reproduced Documentation solely to facilitate those uses of MIPS Deliverables that are allowed hereunder), and to sublicense Licensee's rights granted in this Subsection 2(a)(i) to Licensee's consultants for their use of the MIPS Deliverables at their facilities for their internal evaluation and development purposes;
  (ii) make, use, import, copy, reproduce, have reproduced, modify, create derivative works from YAMON Code only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and to sublicense its rights granted in this Subsection 2(a)(ii), including the right to grant further sublicenses, provided that with respect to any sublicensee, (A) any IP Rights arising in any modification or derivative work created by such sublicensee shall be licensed back to MIPS together with the right by MIPS to sublicense such rights and grant further sublicenses, and (B) the obligations of Subsection 2(c) below shall apply equally to any YAMON Code modified and/or sublicensed by such sublicensee. These obligations shall be deemed to have been satisfied by Licensee's delivery of a copy of this Agreement to its sublicensee(s).
(b) MIPS further grants to Licensee a non-exclusive, worldwide, non-transferable, royalty-free, fully-paid limited right and license under MIPS' IP Rights in any MIPS Code Modifications in existence now or at any time during the term of this Agreement (including those IP Rights assigned to MIPS or licensed to MIPS with sufficient sublicensing rights to satisfy the license grant in this Subsection 2(b)) to the limited extent that Licensee may make, use and import such MIPS Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Subsection 2(b), including the right to grant further sublicenses under the preconditions set forth in Subsection 2(a)(ii) above. Licensee acknowledges and agrees that MIPS (or any third party) is under no obligation to deliver MIPS Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by Licensee or any sublicensee thereof.
(c) Any YAMON Code modified and/or sublicensed pursuant to this Agreement must (i) contain all copyright and other notices contained in the original YAMON Code provided by MIPS to Licensee, (ii) cause modified files to carry prominent notices stating that Licensee (or any sublicensee) changed the files and the date of any change, and (iii) be sublicensed under terms that disclaim all warranties from MIPS and limit all liability of MIPS pursuant to Sections 8, 9, 11 and 12 herein.
(d) All other rights to the MIPS Deliverables not stated in this Section 2 are reserved to MIPS. Except as set out in this Section 2, Licensee shall not rent, lease, sell, sublicense, assign, loan, or otherwise transfer or convey the MIPS Deliverables to any third party. These license grants are effective as of the Effective Date. No license is granted for any other purpose.
(e) To the extent MIPS provides any GPL Materials to Licensee, use of such materials shall, notwithstanding any provision of this Agreement to the contrary, be governed by the GNU GPL.

3. LICENSEE CODE MODIFICATIONS

In partial consideration for the rights and licenses granted under Section 2 herein, Licensee agrees to grant and does hereby grant to MIPS a perpetual, irrevocable, non-exclusive worldwide, royalty-free, fully-paid limited right and license under Licensee's IP Rights in any Licensee Code Modifications (including those IP Rights assigned to Licensee or licensed to Licensee with sufficient sublicensing right to satisfy the license grant in this Section 3) to the extent that MIPS may make, use and import such Licensee Code Modifications only in conjunction with making, using, importing, offering for sale and selling or otherwise distributing Authorized Product and only for use exclusively with such Authorized Product, and sublicense its rights granted in this Section 3, including the right to grant further sublicenses. MIPS acknowledges and agrees that Licensee (or any third party) is under no obligation to deliver Licensee Code Modifications; rather, this license right is intended solely to provide a freedom to use such modifications when created independently by MIPS or any sublicensee thereof.

4. OWNERSHIP AND PREVENTION OF MISUSE OF MIPS DELIVERABLES

(a) This Agreement does not confer any rights of ownership in or to the MIPS Deliverables to Licensee; Licensee does not acquire any rights, express or implied, in the MIPS Deliverables other than those specified in Section 2 above. Licensee agrees that all title and IP Rights in the MIPS Deliverables remain in MIPS (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee agrees that it shall take all reasonable steps to prevent unauthorized copying of the MIPS Deliverables.
(b) MIPS owns all right, title and interest in the YAMON Code and other MIPS Deliverables (subject only, if and to the extent applicable, to the rights of a MIPS supplier with respect to a particular MIPS Deliverable(s)). Licensee shall own all right, title and interest in the modifications and derivative works of the YAMON Code created by Licensee, subject to MIPS' rights in the underlying original YAMON Code as provided under this Agreement.
(c) Licensee agrees to provide reasonable feedback to MIPS including, but not limited to, usability of the MIPS Deliverables. All feedback made by Licensee shall be the property of MIPS and may be used by MIPS for any purpose.
(d) Licensee shall make all reasonable efforts to discontinue distribution, copying and use of any MIPS Deliverables that are replaced by a new, upgraded or updated version of any such MIPS Deliverables, including distribution to any sublicensee of such new, upgraded or updated versions.
(e) Licensee shall not make any statement of any kind or in any format, that any MIPS Deliverable is certified, or that its performance in connection with any product is warranted, indemnified or guaranteed in any way by MIPS or any party on MIPS' behalf. (f) Neither YAMON, MIPS nor any other trademark owned or licensed in by MIPS may be used by Licensee, any sublicensee thereof or any party on their behalf without prior written consent by MIPS, including at MIPS' sole discretion a trademark license agreement preapproved by MIPS.

5. ASSIGNMENT

Licensee may not assign or otherwise transfer any of its rights or obligations under this Agreement to any third party without MIPS' prior written consent, and any attempt to do so will be null and void. This prohibition against Licensee's assignment shall apply even in the event of merger, re-organization, or when a third party purchases all or substantially

all of Licensee's assets. Subject to the foregoing, this Agreement will be binding upon and will inure to the benefit of the parties and their respective permitted successors and assigns.

6. LIMITATIONS OF MIPS' SUPPORT-RELATED OBLIGATIONS
This Agreement does not entitle Licensee to hard-copy documentation or to support, training or maintenance of any kind from MIPS, including documentary, technical, or telephone assistance.

7. TERM AND TERMINATION
(a) This Agreement shall commence on the Effective Date. If Licensee fails to perform or violates any obligation under this Agreement, then upon thirty (30) days written notice to Licensee specifying such default (the "Default Notice"), MIPS may terminate this Agreement without liability, unless the breach specified in the Default Notice has been cured within the thirty (30) day period. This 30-day period may be extended upon mutual, written consent between the parties.
(b) Upon the termination of this Agreement due to Licensee's material breach hereof, Licensee shall (1) immediately discontinue use of the MIPS Deliverables, (2) promptly return all MIPS Deliverables to MIPS, (3) destroy all copies of MIPS Deliverables made by Licensee, and (4) destroy all copies of derivative works of MIPS Deliverables made by Licensee while in breach of this Agreement. All licenses granted hereunder shall terminate as of the effective date of termination.
(c) The rights and obligations under this Agreement which by their nature should survive termination, including but not limited to Sections 3 - 16, will remain in effect after expiration or termination hereof. Subject to Licensee's compliance with the surviving sections of this Agreement identified herein, any sublicenses rightfully granted and derivative works rightfully developed pursuant to Section 2 shall survive the termination of this Agreement.

8. DISCLAIMER OF WARRANTIES
THE MIPS DELIVERABLES ARE PROVIDED "AS IS". MIPS MAKES NO WARRANTIES WITH REGARD TO ANY OF THE MIPS DELIVERABLES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES, WHETHER EXPRESS, IMPLIED, STATUTORY OR OTHERWISE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF TITLE, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

9. LIMITATION OF LIABILITY AND REMEDY
(a) Licensee acknowledges the MIPS Deliverables are provided to Licensee only for the purpose set forth in Section 2. Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims or defenses based on the sublicensing, use, copying, installation, demonstration and/or modification of any of the MIPS Deliverables by Licensee, any sublicensee of Licensee or any party on their behalf. Licensee shall have sole responsibility for adequate protection and backup of any data and/or equipment used with the MIPS Deliverables, and Licensee shall hold harmless and indemnify MIPS from any and all actual or threatened liabilities, claims and defenses for lost data, re-run time, inaccurate output, work delays or lost profits resulting from use and/or modification of the MIPS Deliverables, or any portion thereof, under this Agreement. Licensee expressly acknowledges and agrees that any research or development performed with respect to the MIPS Deliverables is done entirely at Licensee's own risk.
(b) NEITHER PARTY SHALL BE LIABLE TO THE OTHER PARTY OR TO ANY THIRD PARTY FOR ANY DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, INDIRECT, EXEMPLARY OR INCIDENTAL DAMAGES, WHETHER SUCH DAMAGES ARISE UNDER A TORT, CONTRACT OR OTHER CLAIM, OR DAMAGES TO SYSTEMS, DATA OR SOFTWARE, EVEN IF SUCH PARTY HAS BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION ON LIABILITY SHALL SURVIVE EVEN IF THE LIMITED REMEDY PROVIDED HEREIN FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. IN NO CASE WILL MIPS' LIABILITY FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT EXCEED THE AMOUNTS RECEIVED BY MIPS AS FEES UNDER THIS AGREEMENT.

10. WAIVER; MODIFICATION
Any waiver of any right or default hereunder will be effective only in the instance given and will not operate as or imply a waiver of any other or similar right or default on any subsequent occasion. No waiver or modification of this Agreement or of any provision hereof will be effective unless in writing and signed by the party against whom such waiver or modification is sought to be enforced.

11. HAZARDOUS APPLICATIONS
The MIPS Deliverables are not intended for use in any nuclear, aviation, mass transit, medical, or other inherently dangerous application. MIPS EXPRESSLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR SUCH USE. LICENSEE REPRESENTS AND WARRANTS THAT IT WILL NOT USE THE MIPS DELIVERABLES FOR SUCH PURPOSES.

12. SEVERABILITY
In the event any provision of this Agreement (or portion thereof) is determined to be invalid, illegal or otherwise unenforceable, then such provision will, to the extent permitted, not be voided but will instead be construed to give effect to its intent to the maximum extent permissible under applicable law and the remainder of this Agreement will remain in full force and effect according to its terms. IN THE EVENT THAT ANY REMEDY HEREUNDER IS DETERMINED TO HAVE FAILED OF ITS ESSENTIAL PURPOSE, ALL LIMITATIONS OF LIABILITY AND EXCLUSIONS OF DAMAGES SHALL REMAIN IN EFFECT.

13. RIGHTS IN DATA
Licensee acknowledges that all software and software related items licensed by MIPS to Licensee pursuant to this Agreement are "Commercial Computer Software" or "Commercial Computer Software Documentation" as defined in FAR 12.212 for civilian agencies and DFARS 227.7202 for military agencies, and that in the event that Licensee is permitted under this Agreement to provide such items to the U.S. government, such items shall be provided under terms at least as restrictive as the terms of this Agreement.

14. MISCELLANEOUS
(a) The MIPS Deliverables and GPL Materials may be subject to U.S. export or import control laws and export or import regulations of other countries. Licensee agrees to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledges that it has the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to Licensee. Licensee shall indemnify, defend and hold MIPS harmless from any damages, fees, costs, fines, expenses, charges and any actual or threatened civil and/or criminal claims or defenses arising from any failure of Licensee and/or its customers to comply with any obligations arising under this Section 14(a).
(b) Any notice required or permitted by this Agreement must be in writing and must be sent by email, by facsimile, by recognized commercial overnight courier, or mailed by United States registered mail, effective only upon receipt, to the legal departments of MIPS or Licensee (if Licensee has no legal department, then to an officer of Licensee, a contact person specified by Licensee or Licensee's place of business).
(c) The headings contained herein are for the convenience of reference only and are not intended to define, limit, expand or describe the scope or intent of any clause or provision of this Agreement.
(d) The parties hereto are independent contractors, and nothing herein shall be construed to create an agency, joint venture, partnership or other form of business association between the parties hereto.
(e) Licensee acknowledges that, in providing Licensee with the MIPS Deliverables, MIPS has relied upon Licensee's agreement to be bound by the terms of this Agreement. Licensee further acknowledges that it has read, understood, and agreed to be bound by the terms of this Agreement, and hereby reaffirms its acceptance of those terms.

15. GOVERNING LAW AND JURISDICTION
This Agreement shall be governed by the laws of the State of California, excluding California's choice of law rules. With the exception of MIPS' rights to enforce its intellectual property rights in the MIPS Deliverables, all disputes arising out of this Agreement shall be subject to the exclusive jurisdiction and venue of the state and federal courts located in Santa Clara County, California, and the parties consent to the personal and exclusive jurisdiction and venue of these courts. The parties expressly disclaim the application of the United Nations Convention on the International Sale of Goods to this Agreement.

16. ENTIRE AGREEMENT
This Agreement and the GNU GPL constitute the entire agreement between MIPS and Licensee regarding the MIPS Deliverables and GPL Materials provided to Licensee hereunder, and shall supersede and control over any other prior or contemporaneous shrinkwrap and/or clickwrap agreements regarding the same. Any additions or modifications must be made in a subsequent, written agreement signed by both parties.

その他
ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

オープンソース・ソフトウェア

【オープンソース・ソフトウェアの使用条件が記載された URL】

(a)ijgjpeg	http://www.ijg.org/
(b)zlib	http://www.zlib.net/zlib_license.html
(c)libpng	http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt

【本契約締結時点のでオープンソース・ソフトウェアの使用条件】

<Image Decoder Modules>

(a) ijgjpeg
(b) zlib
(c) libpng

(a) ijgjpeg

ijgjpeg License Terms

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in
advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.)
So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

(b) zlib

zlib License Terms

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.3, July 18th, 2005

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

(c)libpng

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.18, May 15, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

ソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors
and Group 42, Inc.
assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
May 15, 2007

ライセンスおよび商標などについて

- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFrontBrowser を搭載しています。
ACCESS、NetFront は、日本国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
©2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標、または登録商標です。

- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース･エンジニアリング、逆アセンブル、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。 CHECKED: K.

メ　モ

メ　モ

DOSHISHA CORPORATION
発売元　株式会社ドウシシャ
株式会社ドウシシャ　福井 AV サービスセンター
〒915-0801 福井県越前市家久町 41-1
☎　0778（24）2779
FAX 0778（24）2799